Panasonic

取扱説明書
デジタル入力レコーダー

品番 DMR-T5000UR

安全上のご注意
ご使用前に必ずお読みください。
(4 ～7ページ)

接続と設定を行う
(13 ～ 23 ページ)

メディア情報・画面説明 ▶

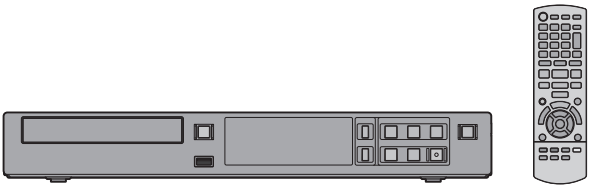
録画 ▶

再生・編集・ダビング ▶

写真・動画 ▶

便利機能 ▶

必要なとき ▶



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

さらに詳しい操作説明は

さらに詳しい操作説明は、「取扱説明書 詳細版」(PDF 形式) に記載されています。
Web サイトからダウンロードしてお読みください。**(詳細版参照方法は ➜3)**

保証書付き

TQBS0477-4

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください（→4 ～7 ページ）

はじめに

本書のご案内 8
- ディスクなどのマーク表示について 8
- 本書内の表現について 8
- 当社サポートサイトのご案内 8

付属品 / リモコンの準備 9
- 付属品 9
- リモコンに電池を入れる 9

各部の働き 10
- 本体前面 10
- 本体表示窓 11
- 本体 LED 11
- 本体背面 11
- リモコン 12

接続と設定を行う

接続の前に 13

テレビやモニターに出力する 14
- HDMI 端子で出力する場合 14
- SDI 端子で出力する場合 14
- 音声端子で出力する場合 15

映像出力機器から入力する 16
- HDMI 端子で入力する場合 16
- SDI 端子で入力する場合 16
- HD コミュニケーションシステム（HD コム）から入力する場合 17

電源コードを接続する 18

設定をする 19
- 時刻を合わせる 19
- システム機能の設定をする 19
- 音声設定をする 21
- 出力端子優先モードを設定する 22
- HDMI 端子に合わせて設定する 22
- SDI 端子に合わせて設定する 23

メディア情報・画面説明

記録できるディスクについて 24

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて 26
- 再生のみできるディスク 26
- 本機で使えないディスク 26

別売の USB-HDD について 27
- 推奨 USB-HDD について 27
- 接続する 27
- フォーマットする 27
- 取り外しについて 27

USB 機器について 28
- 接続できる USB 機器について 28
- USB 機器を接続する 28
- 取り外しについて 28

ホーム画面について 29
- ホーム画面で表示できる機能 29

録画

録画する 30
- 録画中のいろいろな操作 31
- 日時を指定して予約録画する 31

予約内容の確認、取り消し、修正など 33

録画 / 予約録画に関するお知らせ 34

番組を検索する 35

再生・編集・ダビング

録画一覧について 37

録画した番組を再生する 39
- 録画した番組を再生する 39
- 録画しながら再生する（追っかけ再生／同時録画再生） 39
- 録画時の便利な機能 39
- 再生時の便利な機能 42
- まとめ番組について 42

番組を消去する / 編集する 43
- 番組を消去する 43
- 番組を編集する 43

ダビングする 45
- かんたんダビング 45
- 詳細ダビング 46

写真・動画

動画や写真を転送する 48

便利機能

外部機器から本機を制御する 49
- LAN ケーブルを使用して外部機器と接続する 49
- 外部機器からログインする 49

必要なとき

本機で記録できるようにする（フォーマット）..... 50
ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 録画一覧の全番組消去 52
ファイナライズ 53
ネットワーク接続をする 54
- 各機器と直接接続する 54
- ハブまたはブロードバンドルーターを使って各機器と接続する 55

設定を変える 57
- 機器設定 57
- HDD・USB 機器・再生記録設定 59
- 映像・音声設定 60
- HDMI・SDI 接続設定 61
- ネットワーク設定 62
- 設定リセット 64
- 情報表示 64
- リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ 65
- ネットワーク連携する機器の設定をする 66

故障かな !? 67
- 電源 68
- 本体 68
- 画面表示 68
- ボタン操作 68

仕様 69
著作権など 72
保証とアフターサービス（よくお読みください）..... 74

もっと詳しく知りたい

さらに詳しい使い方を知りたいときは、「取扱説明書 詳細版」（PDF 形式）をお読みください。

さらに詳細な操作は ▶ **取扱説明書 詳細版**



「取扱説明書 詳細版」（PDF 形式）は Web サイトからダウンロードしてください

https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_nwav_supportpage

「取扱説明書　詳細版」（PDF 形式）を閲覧・印刷するためには、
Adobe Reader が必要です。
Adobe Reader は、下記のサイトからダウンロードできます。
（2022 年 6 月現在）
http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告


電源プラグを抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。


接触禁止

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

⚠ 警告


ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。


分解禁止

分解、改造をしない
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない
ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。
- 油煙や湯気、水しぶきの当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かないでください。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない
たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



可燃性ガスのスプレー等を使用しない
清掃用などの可燃性ガスを本機に使用すると、静電気などの影響により、火災の原因になることがあります。



電池は誤った使いかたをしない
- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す
そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。



長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクや USB 機器は、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。



ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

機器の前に物を置かない
リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、物に当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。
- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は 3D 映像を視聴しない
病状悪化の原因になることがあります。

3D 映画などを視聴する場合は 1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる
長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D 映像の視聴年齢については、およそ 5 ～ 6 歳以上を目安にする
お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。
- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D 映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する
そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。
- 適度な休憩をとってください。
- 3D 映像の見えかたには個人差がありますので、3D 関連の設定で効果を設定する場合には特にご注意ください。

スピーカー等の磁気を発生する機器を本機の上に載せない
磁力や振動の影響により、誤動作や故障の原因になることがあります。

本書のご案内

ディスクなどのマーク表示について

本書では、ディスクなどは以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE※	BD-RE
BD-R※	BD-R
BD ビデオ Ultra HD ブルーレイ	BD-V
DVD-RAM	RAM
DVD-R DVD-R DL	-R
DVD-RW	-RW
DVD ビデオ +R、+R DL、+RW	DVD-V
CD	CD
USB 機器 USB-HDD	USB
Network Attached Storage	NAS

※ DL、BDXL も含みます。

- 同じディスクでも記録方式の違いなどで動作が異なる場合、表示マークに記録方式を付与しています。
  - ・AVCREC 方式の場合 ：例）-R AVCREC
  - ・VR 方式の場合 ：例）-R VR -RW VR
  - ・ビデオ方式の場合 ：例）-R V -RW V
  （ただしファイナライズ後は DVD-V）
- ハイビジョン動画（AVCHD）が記録されたディスクの場合は、AVCHD と表示
- 特に記載がない場合、本書で「BD ビデオ」と記載している内容は、Ultra HD ブルーレイを含みます。

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを（➜○○）で示しています。
- 本書ならびに本機では、録画やダビングした映像・音声のことを「番組」と表現しています。

当社サポートサイトのご案内

機能向上や改善のために当社はソフトウェアの更新を必要に応じて行っています。
サポートサイトでは、最新のソフトウェアのダウンロード情報や更新方法などの情報が掲載されています。

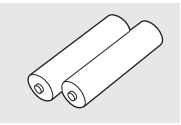
サポートサイトは以下のアドレスからご確認いただけます。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/nwav

付属品 / リモコンの準備

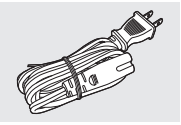
付属品



リモコン（1 個）
N2QAYB001271



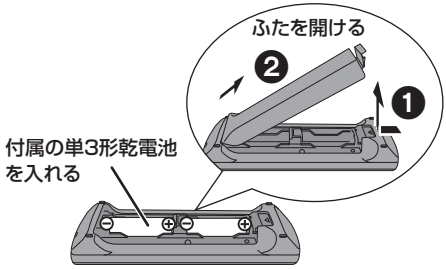
リモコン用乾電池（2 個）
単 3 形乾電池



電源コード（1 本）
K2CA2YY00402

- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 電源コードキャップ※および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
  ※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2022 年 6 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

リモコンに電池を入れる

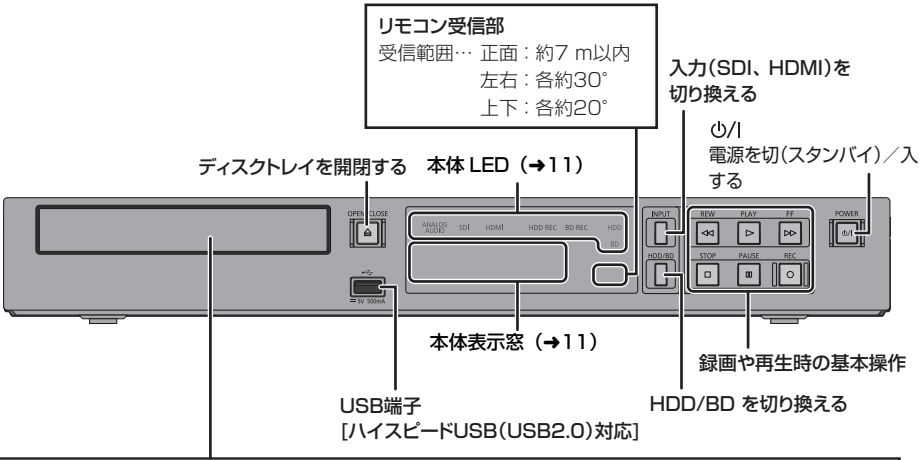


リモコンのふたを閉じるときは、
開けるときと逆の手順❷❶で閉じてください。

- ⊕⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

各部の働き

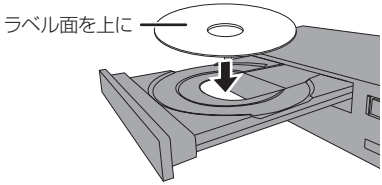
本体前面



ディスクトレイ

リモコンの 開/閉 を押してディスクトレイを開き、ディスクを入れる

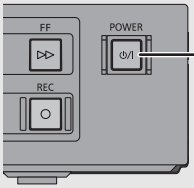
- もう一度押すと、ディスクトレイが閉まります。
- 本体の **[OPEN/CLOSE]** でも操作できます。



お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい面を下にして入れてください。

本機の操作ができなくなったときは…



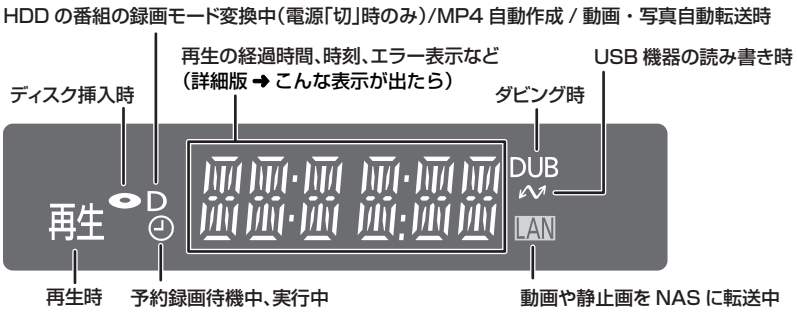
① **本体の [POWER ⏻/I] を押し、電源を切る**
- 切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。
（それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）

② **本体の [POWER ⏻/I] を押し、電源を入れる**
（起動に時間がかかる場合があります）

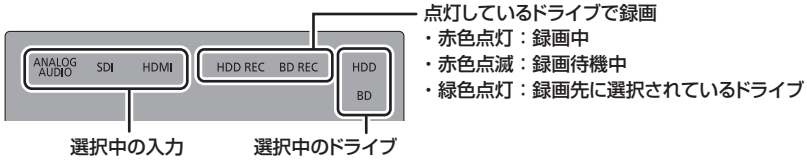
故障かな !? と思った場合 **（➜67）**

本体表示窓

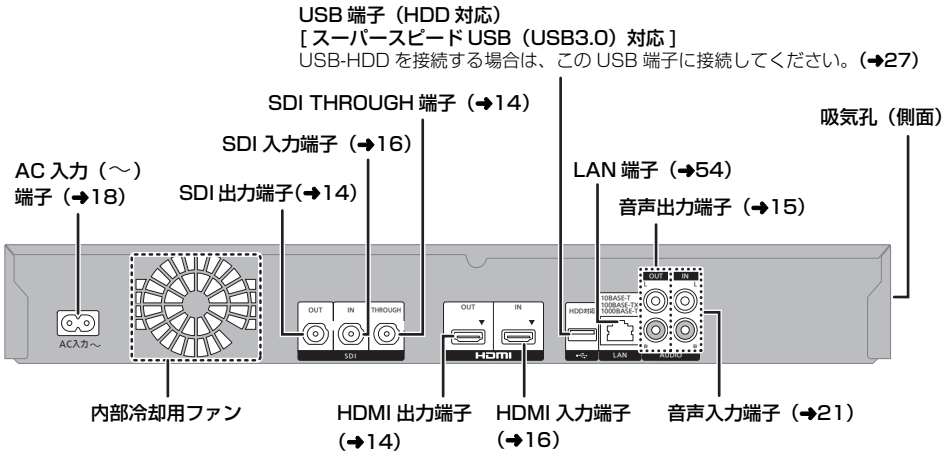
以下の場合に点灯表示します。



本体 LED

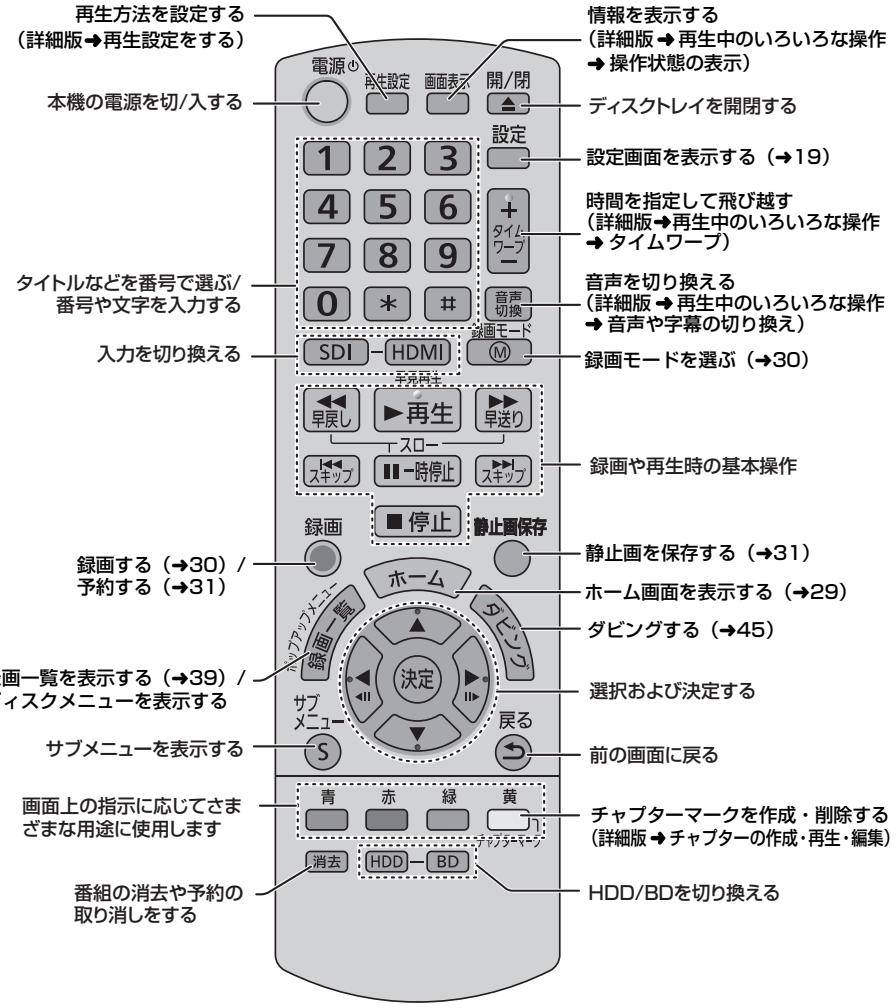


本体背面



各部の働き（続き）

リモコン



お知らせ

- リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。（➜65）
- 本機のリモコン受信部（➜10）にまっすぐ向けて、操作してください。

接続の流れ

接続1 **モニターやテレビに出力する**
(➜14)

接続2 **映像出力機器から入力する**
(➜16)

接続3 **電源コードを接続する**
(➜18)

本機をネットワークに接続する場合
「ネットワーク接続をする」(➜54)

- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。(本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください)
- 各機器の説明書もご覧ください。

本機の設置について

- 熱源となる物の上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
- 悪意の第三者によって不正に直接本機を操作されない場所に設置する。



タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。

つゆつき(結露)について

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - 急激な温度変化が起きたとき(暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど)
  - 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで(約2～3時間)、**電源を切ったまま放置してください。**

- Ultra HD ブルーレイを4K/HDR で視聴するために、HDCP2.2、4K/60p (4:4:4)、Ultra HD ブルーレイ規格のHDR 信号に対応した機器のHDMI 端子に接続して、テレビの設定を確認してください。
  (詳細版 ➜Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、DVD ビデオを再生する)

接続1 テレビやモニターに出力する

HDMI 端子で出力する場合

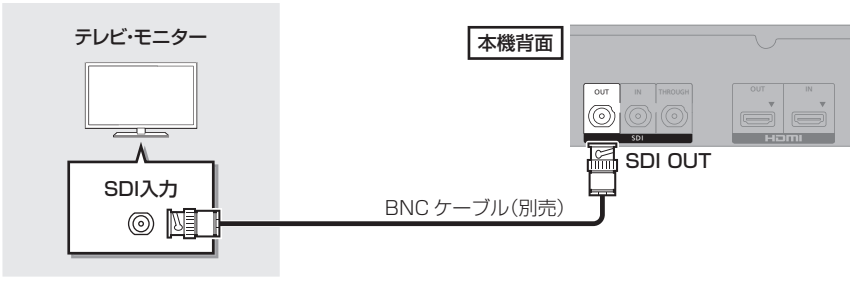


以下の設定を行ってください。
- 「出力端子優先モードを設定する」(➜22)
- 「HDMI 端子に合わせて設定する」(➜22)

お知らせ

- HDMI ケーブルは、「18 Gbps 対応ハイスピード HDMI」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。
- HDMI 入力からの著作権のあるコンテンツは映像出力できません。

SDI 端子で出力する場合

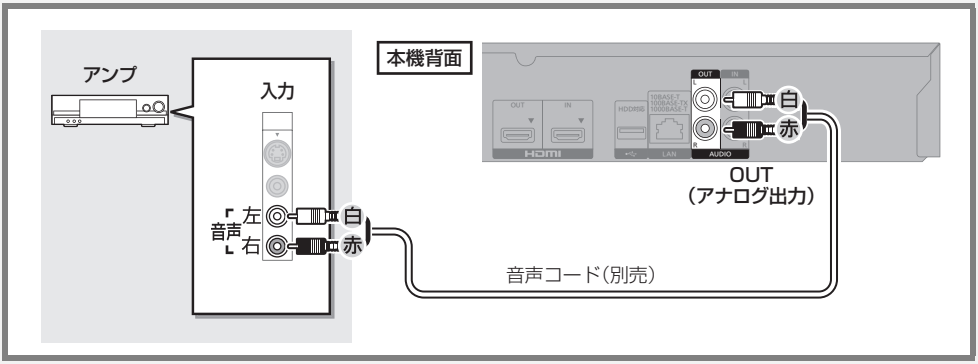


以下の設定を行ってください。
- 「出力端子優先モードを設定する」(➜22)
  接続する出力端子が SDI 出力端子のみの場合は、「SDI 出力優先」にすることをお勧めします。
- 「SDI 端子に合わせて設定する」(➜23)

お知らせ

- BNC ケーブル（別売）は、12G-SDI 対応の二重シールドのものをご使用ください。
- SDI THROUGH 端子に接続すると、SDI 入力端子から入力された信号のまま出力することができます。出力したい場合、「スルーモード設定」(➜23) を「有効」にしてください。(ただし、電源コードを電源コンセントから抜いている場合、出力されません)
- 以下の信号は映像出力できません。
  - HDMI 入力からの著作権のあるコンテンツ
  - BD-V DVD-V 著作権のあるコンテンツ
  - コピー制限のある番組
  - CD
  - ホームネットワーク機能を使った再生
  - HDMI 入力からの 480p 映像

音声端子で出力する場合

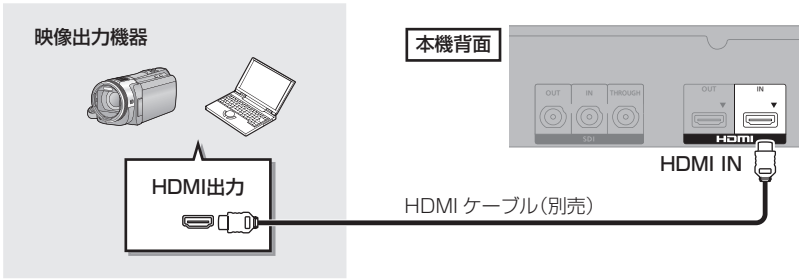


お知らせ

- 以下の信号は出力できません。
  ・HDMI 入力からの著作権のあるコンテンツ

接続2 映像出力機器から入力する

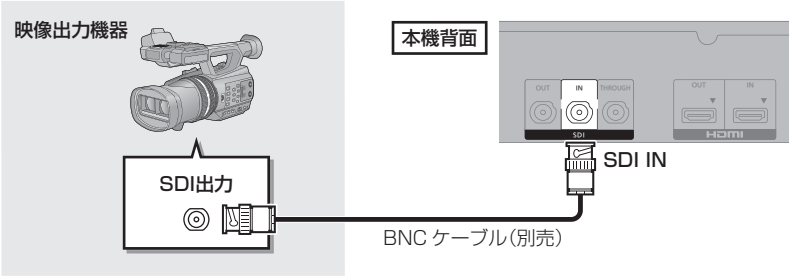
HDMI 端子で入力する場合



お知らせ

- HDMI ケーブルは、「18 Gbps 対応ハイスピード HDMI」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
  当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。

SDI 端子で入力する場合



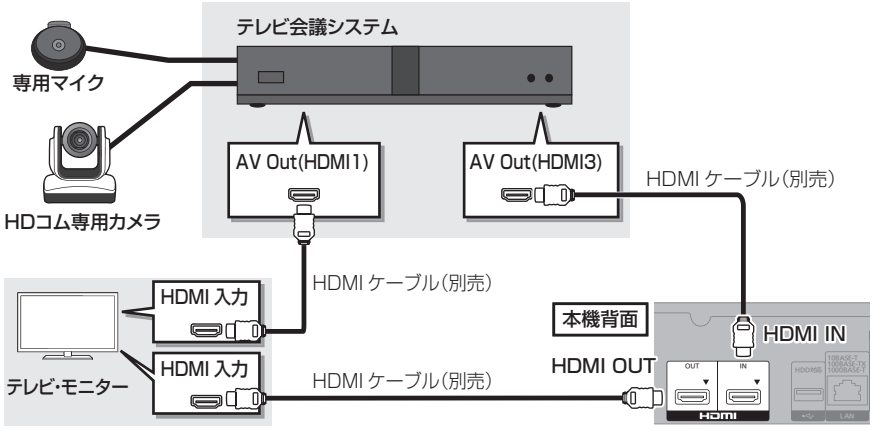
お知らせ

- BNC ケーブル（別売）は、12G-SDI 対応の二重シールドのものをご使用ください。

HD コミュニケーションシステム（HD コム）から入力する場合

当社製のテレビ会議システム（HD コム）と接続すると、会議の映像を録画することができます。
HD コムを会議記録が可能なモードに設定する必要があります。詳しくはHD コムをご購入された販売会社にご相談ください。

KX-VC1600J の場合

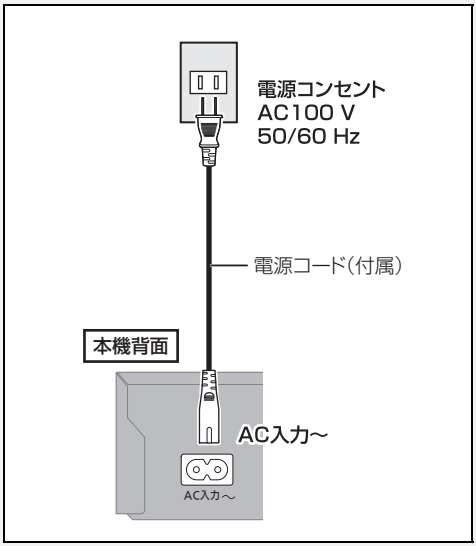


お知らせ

- HDMI ケーブルは、「18 Gbps 対応ハイスピード HDMI」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。

接続3 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。



☞ **長期間使用しないとき**

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

設定をする

時刻を合わせる

本機は時刻を合わせて工場出荷されていますが、正確な時刻を必要とするときは、ご使用前に時刻を確認し、時刻を合わせてください。

1 電源 **を押して、電源を入れる**
- 本体の[POWER ⏻/I]を押して、電源を入れることもできます。

2 設定 **を押す**

3 **「機器設定」を選び、決定 を押す**

4 **「日時設定」を選び、決定 を押す**

5 **各項目を選び、設定する**
- 時刻は 24 時間表示です。

6 決定 **を押す**
- 時計が動き始めます。

お知らせ
- 時刻に誤差が生じる場合がありますので、ご使用前に時間が合っているか確認してください。

システム機能の設定をする

1 設定 **を押す**

2 **「機器設定」を選び、決定 を押す**

3 **「システム機能」を選び、決定 を押す**

4 **設定項目を選び、決定 を押す（➜下記へ）**

5 **設定内容を変更する**

自動電源 ON

「入」に設定しておくと、電源コード接続時に自動的に本機の電源が「入」になります。

自動再生

電源を入れたとき、電源「切」前に選択していたドライブの番組を自動的に続きから再生します。
- ディスクによっては最初から再生される場合があります。
- 電源「切」前に選択していたドライブにメディアが挿入されていない場合、HDD 内の最後に再生した番組を再生します。
- 音楽 CD は自動再生されません。

タイトルリピート

「入」に設定し再生を開始すると、自動的にリピート再生します。

自動チャプター作成

自動チャプターモード
録画時に指定時間ごとに自動的にチャプターを作成します。

チャプター間隔
「自動チャプターモード」が「入」時に、自動的にチャプターを作成する間隔を設定します。
（15 分、30 分、60 分から選べます）

録画一覧再生位置

番組一覧で最初に選択される番組を設定します。
- 「通常」：前回再生した番組を選択
- 「先頭」：いちばん初めの番組を選択
- 「最後」：いちばん後の番組を選択

「先頭」または「最後」に設定して録画を実行した場合、停止状態から **[▶ 再生]** を押したときに最初に再生される番組は、いちばん新しい番組になります。

スクリーンセーバー

「切」に設定すると、市販のディスク停止時などに表示されるスクリーンセーバー（右記）を黒い画面に切り換えます。



録画機能設定

録画動作設定

（ディスクは BD-RE BD-R -R AVCREC -R V -RW V に記録可能）

通常録画

選択中のドライブ (HDD または BD) に録画します。

HDD/BD 同時録画

録画先が HDD のときに **[録画 ●]** を押すと、HDD とディスクに同時に録画します。ディスクの空き容量が不足し録画が継続できなくなった場合でも、HDD への録画は継続します。ただし、ディスク書き込みにエラーが発生した場合は、両方の記録を止めて電源「切」となります。本体の **[POWER ⏻/I]** を押して電源を入れ、画面の表示を確認してください。また、HDD の容量が無くなったなどでHDDへの録画が停止した場合、ディスクへの録画も停止します。
- 予約録画時、HDD/BD 同時録画は実行されません。
- MPEG2（DVD 画質）では、HDD/BD 同時録画は実行されません。

エンドレス録画

HDD に録画し続けます。
24 時間ごとに約 5 分間のシステムリセットを行います。システムリセットの開始時刻は、「システムリセット時刻設定」で設定できます。
- 録画時間が約 24 時間で 1 番組になります。
- 録画先の記録可能時間が選択中の録画モードで 24 時間より少なくなった場合、古い番組から自動的に消去します。
- 消去したくない番組は、「プロテクト設定」**(➜43)** を行ってください。
- 予約録画は実行されなくなります。
- 「自動消去」は「有効」にはできません。
- MPEG2（DVD 画質）では、エンドレス録画は実行されません。

システムリセット時刻設定

24 時間ごとに約 5 分間のシステムリセットを行う時刻を設定します。
安定運用のためにシステムリセットが確実に実行されるように本機の操作をしていただく必要があります。
- 「録画動作設定」が「通常録画」または「HDD/BD 同時録画」の場合、システムリセット設定時刻の前に本機を電源「切」状態にしてください。システムリセットは電源「切」状態のときに実行され、実行後も電源「切」の状態のままとなります。
  「録画動作設定」が「エンドレス録画」の場合、いったん録画を止めてシステムリセット動作を実行したあとに電源が「入」になり録画を再開します。
- 再生時、ダビング時、MP4、M2TS、JPEG ファイルの手動転送中はシステムリセットは実行されません。
- システムリセット実行中、本機は自動で電源を「切」にします。システムリセット実行中はリモコンなどの操作や制御コマンドに反応しません。

自動消去

「有効」に設定すると、HDD の記録可能時間が HEVC 1 倍録モードで 24 時間（約 400 GB）より少なくなった場合、古い番組から自動的に消去します。
- 選択中のドライブが HDD で録画停止時に自動消去を実行します。
- 消去したくない番組は、「プロテクト設定」**(➜43)** を行ってください。
- 「エンドレス録画」**(➜左記)** 設定時は無効になります。

タイムスタンプ

「入（左下）」または「入（標準）」に設定すると、録画番組の映像信号にタイムスタンプ（年 / 月 / 日 時 : 分 : 秒）を重畳（重ね合わせる）して記録します。「入（左下）」は「入（標準）」よりもさらに画面の左下の隅の位置に重畳します。タイムスタンプは削除できません。
- 録画中の表示画面上には、表示されません。
- [**画面表示**] を押すと、再生画面上部にタイムスタンプ「 0.00 」が表示されます。

トレイ制御

ディスクへ録画中にディスク残量がなくなると、自動的にディスクトレイが開きます。
以下の操作中のときは、トレイ制御が実行されません。
- 予約録画中
- ディスクトレイをロックしている
  （詳細版 ➜ ディスクトレイをロックする）

動画・静止画の設定

MP4 自動作成

「入」に設定すると、録画終了後、電源の「入 / 切」に関係なく自動的に MP4 を作成します。

以下の番組は変換されません。

・「入」に設定する前に録画済みの番組（録画一覧から MP4 を作成してください）

・本機とは別の機器で録画した番組

・ディスクに記録した番組

動画・静止画自動転送

自動転送を「入」に設定すると、転送データ（動画、静止画）の選択や、転送先（NAS、USB）を選ぶことができます。

タイマー機能

指定された時刻に本機の電源を自動で「入」または「切」にします。

電源 ON 設定 / 電源 OFF 設定

電源 ON 設定、電源 OFF 設定を有効または無効にします。

設定時刻

電源を「入」または「切」にする時刻を設定します。

毎週予約設定

電源を「入」または「切」にする曜日を設定します。

音声設定をする

1 設定 **を押す**

2 **「映像・音声設定」を選び、** 決定 **を押す**

3 **「記録音声選択」を選ぶ**
または「会議記録モード」を選び、 決定 **を押す**

4 **設定内容を変更する**

記録音声選択

記録する音声を選択します。

- 「アナログ」：　映像を入力している端子にかかわらず、アナログ入力端子から音声を入力 [音声入力端子 **（➜11）** と接続していることを確認してください。]
- 「エンベデッド」：　映像を入力している端子と同じ端子から音声を入力

会議記録モード

テレビ会議システムを接続している場合に、会議中に出力する音声を設定します。

- 以下のように音声を出力します。
  - ・「入（L 出力）」：入力音声の L のみ出力
  - ・「入（R 出力）」：入力音声の R のみ出力
  - ・「入（消音）」：入力音声を出力しない
  - ・「切」：LR 両方の音声を出力
- 会議中は、他拠点の音声が出力されるように設定してください。
  例えば、他拠点の音声が L チャンネル、自拠点の音声が R チャンネルの場合、「入（L 出力）」に設定してください。
- 録画した映像を再生するときは、設定にかかわらず両拠点の音声が出力されます。
- 録画用の出力を持つ機器と接続する場合は、「入（消音）」に設定してください。
- 「入（L 出力）」、「入（R 出力）」の設定で出力する場合、出力端子の L/R 両方の端子に同じ音声が出力されます。

出力端子優先モードを設定する
（HDMI 出力端子・SDI 出力端子接続時）

HDMI 出力端子または SDI 出力端子に接続する場合、以下の設定を行ってください。
映像出力を HDMI 出力端子からにするか、SDI 出力端子からにするかを選びます。

1 設定 **を押す**

2 **「HDMI・SDI 接続設定」を選び、決定 を押す**

3 **「出力端子優先モード」を選び、決定 を押す**

4 **「HDMI 出力優先」または「SDI 出力優先」を選び、決定 を押す**

- 「HDMI 出力優先」に設定すると、「HDMI 接続設定」の「出力解像度」に合わせて信号を出力します。**（➜61）**
- 「SDI 出力優先」に設定すると、「SDI 接続設定」の「出力解像度」**（➜23）**に合わせて信号を出力します。
- SDI出力端子に接続した機器がHDMIから出力される解像度に非対応の場合、SDI 出力端子から出力されません。
- 「HDMI 接続設定」の「出力解像度」が「480p」の場合、SDI 出力端子から出力されません。**（➜61）**

HDMI 端子に合わせて設定する

HDMI 出力端子に接続する場合、「出力端子優先モード」**（➜ 左記）**を設定したあと、「音声出力」の設定を行ってください。

1 設定 **を押す**

2 **「HDMI・SDI 接続設定」を選び、決定 を押す**

3 **「HDMI 接続設定」を選び、決定 を押す**

4 **「音声出力」を選び、決定 を押す**

5 **「入」または「切」を選び、決定 を押す**

- 「切」に設定すると、HDMI 出力端子から音声は出力されません。

SDI 端子に合わせて設定する

SDI 出力端子に接続する場合、「出力端子優先モード」(➜22) を設定したあと、以下の設定を行ってください。

1 設定 を押す

2 「HDMI・SDI 接続設定」を選び、決定 を押す

3 「SDI 接続設定」を選び、決定 を押す

4 設定項目を選び、決定 を押す（➜右記へ）

5 設定内容を変更する

【 】はお買い上げ時の設定です

入力解像度 【オート】

SDI 入力端子から入力する解像度を設定します。

出力解像度 【1080i】

SDI 出力端子から出力する映像の解像度を設定します。

入力 HDR 設定 【オート】

SDI 入力端子から入力する HDR 方式を設定します。

入力色域設定 【オート】

SDI 入力端子から入力する色域を設定します。

入力音声選択 【1ch/2ch】

SDI 入力端子から記録する音声を設定します。

音声出力 【入】

SDI 出力端子から音声を出力するか設定します。

- 「切」に設定すると、SDI 出力端子から音声は出力されません。
- 「入」に設定すると、SDI 出力端子からの音声はダウンミックス 2ch の PCM 音声になります。

スルーモード設定 【有効】

「有効」に設定すると、SDI 入力端子からの信号を SDI THROUGH 端子から出力できるようになります。

記録できるディスクについて

ディスクの種類	BD-RE 繰り返し記録	BD-R 1 回のみ記録
記録可能なディスク	片面1層(25 GB)/片面2層(50 GB)/片面 3 層（100 GB）	片面 1 層(25 GB)/ 片面 2 層(50 GB)/片面3層(100 GB)/片面4層(128 GB)
記録方式	—	—
記録できるコンテンツ	HEVC 画質、AVC 画質の番組、写真 / 動画 (MP4・M2TS)	
他の機器で再生するには	**BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。** ●機器により再生できないことがあります。 ●LTH type の BD-R、DL や BDXL は再生機器がそれぞれの再生に対応していないと再生できません。 ●2006 年春以前に発売された BD 機器では再生できません。 ●BD-RE、BD-R に書き出した動画（MP4・M2TS）は再生保証していません。	
備考	●DL、BDXL™ にも記録できます。 ●カートリッジ付きの BD-RE（Ver.1.0）の記録や再生はできません。（カートリッジからディスクを取り出しても使えません）	

ディスクの種類	**DVD-R** **DVD-R DL**（片面２層）  １回のみ記録	**DVD-RW**  繰り返し記録
記録可能なディスク	片面１層 / 片面２層	Ver.1.1/1.2 に対応した６倍速メディアまで
記録方式	● **AVCREC 方式** ● **VR 方式** （DVD ビデオレコーディング規格） ● **ビデオ方式** （DVD ビデオ規格）	● **VR 方式** （DVD ビデオレコーディング規格） ● **ビデオ方式** （DVD ビデオ規格）
記録できるコンテンツ	番組	番組
他の機器で再生するには	以下の条件に当てはまる機器で再生できます。 ● **記録したディスクの再生に対応** ● **記録したディスクの記録方式の再生に対応** ・**AVCREC 方式の場合：** 対応機器には右記のロゴが付いています。 対応機器以外で使用しないでください。 ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。 -R はファイナライズ（**➜53**）が必要です。 ・**VR 方式の場合：** VR 方式の再生に対応している必要があります。 ・**ビデオ方式の場合：** 記録後にファイナライズ（**➜53**）が必要です。 AVCREC™	
備考	● ビデオ方式ではコピー制限のない番組のみ記録できます。	

● 8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。
● DVD の記録方式は、本機でフォーマット(**➜50**)することで設定されます。
● DVD にビデオ方式で直接録画する場合、二層のディスクへの記録はサポートしていません。

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

Ultra HD ブルーレイ	Ultra HD ブルーレイの再生については（詳細版 ➜Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、DVD ビデオを再生する）	
BD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例） ●リージョンコードは国により異なります。
DVD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。 ただし、PAL方式のディスクは再生できません。	「2」（または「2」を含むもの）、「ALL」が表示されたもの 例） ●番号は国により異なります。
CD	**音楽や音声が記録された市販ソフト** （CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む） **写真が記録された CD-R や CD-RW（JPEG フォーマット記録ディスク）**	
+R +R DL（片面2層） +RW	**他機器で番組やハイビジョン動画（AVCHD）、写真（JPEG）を記録したディスク** ●録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。	
DVD-RAM DVD-R DVD-RW	RAM **他機器で番組を記録したディスク** （AVCREC 方式または VR 方式の記録方式で記録されたディスク） **他機器でハイビジョン動画（AVCHD）を記録したディスク** ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。 **写真（JPEG）を記録したディスク**	

- 記録状態によって再生できない場合があります。
- CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作および音質の保証はできません。
- 8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

- カートリッジから取り出せない DVD-RAM（TYPE1）　●BD-RE（Ver.1.0）　●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R（ビデオ方式）、DVD-R DL（ビデオ方式）、DVD-RW（ビデオ方式）
- HD DVD　●ビデオCD　●SACD　●SVCD　●DVDオーディオ　●BDオーディオ
- Photo-CD　●パソコンやゲームのソフト　●M-DISC　など

別売の USB-HDD について

本機は、USB-HDD を接続し、MP4 ファイルや M2TS ファイルを USB-HDD に書き出すことができます。本機では USB-HDD は、USB 機器と表示されます。

- USB-HDD の説明書もよくお読みください。
- 本機は USB-HDD への録画、ダビングはできません。
- 本機で USB-HDD を使用する場合、USB-HDD のフォーマットを行う必要があります。**(➔ 右記)**
- 本機では 容量160 GB以上、4 TB以下の USB-HDD をご使用になれます。

推奨 USB-HDD について

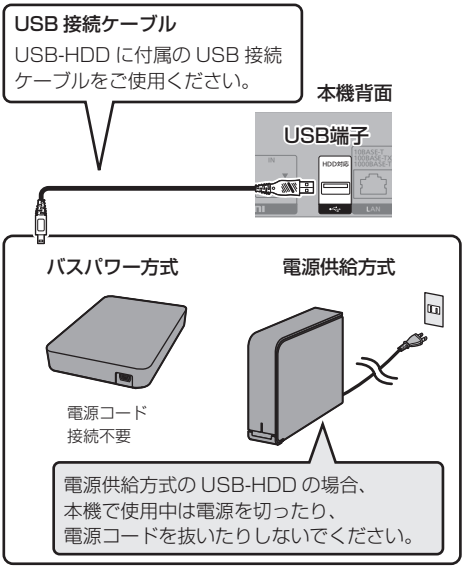
推奨 USB-HDD をご使用ください。

推奨 USB-HDD の最新情報については、サポートサイトでご確認ください。**(➔8)**

- USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。

接続する

USB-HDD の接続は、本体の電源「切」時に行ってください。



- USB ハブを使用して接続しないでください。

フォーマットする

USB-HDD を使用する場合は、本機で USB-HDD のフォーマットをする必要があります。

- **本機以外で使用した USB-HDD を本機でフォーマットする場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。**

[設定] ボタン→「HDD・USB 機器・再生記録設定」→「USB 機器設定」→「USB 機器管理」→「USB 機器のフォーマット」で登録を行う

お知らせ

- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB（4096 B）以外の USB-HDD は使用できません。

取り外しについて

USB-HDD の記録内容を保持したまま、一時的に USB-HDD を取り外したい場合に、以下の操作を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。

[ホーム] ボタン→「メディアを使う」→「USB 機器」→「USB 機器の取り外し」で取り外す

USB 機器について

接続できる USB 機器について

当社製のビデオカメラやデジタルカメラなどと接続することができます。

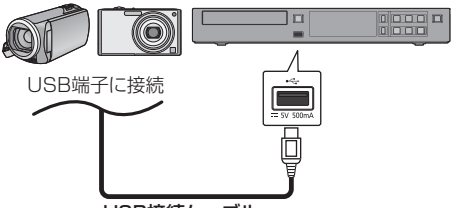
- USB リーダー& ライター、USB 電源を利用する機器などは故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB リーダー&ライターとの接続やUSBハブおよびUSB 延長ケーブルを使用した接続、USB 端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使うUSB接続ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画（AVCHD、MP4）の取り込み
  （詳細版 ➜USB・ディスクから撮影ビデオを取り込む）、（詳細版 ➜ 動画（MP4）を取り込む）
- 写真、MP4 の再生
  （詳細版 ➜ 動画や写真を再生する）

USB 機器を接続する



USB接続ケーブル
（USB機器の付属品など指定のケーブル）

背面端子も同様に接続することができます。

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

取り外しについて

動画の取り込み・書き込み中や、本体表示窓の“ ”**（➜11）**点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。

USB 機器を取り外す前に、以下の操作を行ってください。

[ホーム] ボタン→「メディアを使う」→「USB 機器」→「USB 機器の取り外し」で取り外す

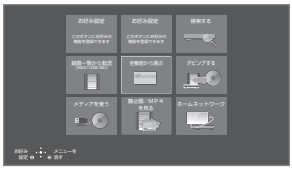
ホーム画面について

ホーム画面から本機の主な機能を操作することができます。

1 ホーム **を押す**

2 **項目を選び、** 決定 **を押す**

例）



☞ **ホーム画面に表示されていない機能を選びたいときは**
「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す

☞ **ホーム画面に表示する機能を変更するには**
「お好み設定」以外の機能表示が変更できます。
① 変更したい機能を選び、**[サブ メニュー]** を押す
② 「機能を登録する」を選び、**[決定]** を押す
③ メニューを選び、**[決定]** を押す
④ 表示したい機能**(➜右記)**を選び、**[決定]**を押す
⑤ 「はい」を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

- 本書では、ホーム画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。

ホーム画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。

機能名	参照ページ
見る	
録画一覧から転送（NAS/USB/BD）	48
静止画 /MP4 を見る	（詳細版 ➜ 動画や写真を再生する）
検索する	35
予約する	
予約確認する	33
残す	
ダビングする	45
ネットワーク機能を使う	
ホームネットワーク	（詳細版 ➜ ホームネットワークを使う）
お引越しダビング	（詳細版 ➜ 他機器からダビングする）
設定する・その他の機能	
設定 本機の設定（機器設定／ HDMI・SDI 接続設定／ネットワーク設定／情報表示）を変更や確認することができます。	57
お好み設定リセット ホーム画面の表示をお買い上げ時の設定に戻します。	–
メディアを使う	
ディスク、USB 機器内のデータを表示します。	–

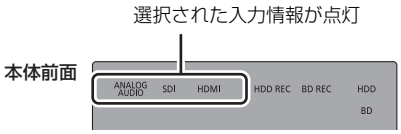
録画する

HDD BD-RE BD-R -R AVCREC -R V -RW V

新品のディスクに録画するときなど、ディスクのフォーマットが必要な場合があります。(➜50)

1 SDI HDMI を押して、入力を選ぶ

- 本体の [INPUT] を押して、入力を選ぶこともできます。



2 HDD BD を押して、録画先を選ぶ

- 本体の [HDD/BD] を押して、録画先を選ぶこともできます。



3 録画モード Ⓜ を押して、録画モードを選ぶ

- 押すごとに、切り換わります。**[決定]** を押すと、選ばれた録画モードに切り換わります。

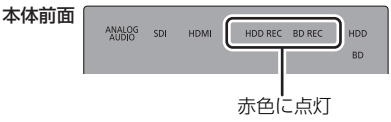
例)



- **[サブ メニュー]** を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。**(➜35)**

4 録画 ◯ を押す

- 本体の [REC] を押して、録画を開始することもできます。



☞ 録画を止めるには

[■ 停止] を押す

(本体の [STOP] でも停止できます)

☞ 記録学習を実行するには

録画前に **[❚❚ 一時停止]** と **[■ 停止]** を5秒以上押す(本体の [PAUSE] と [STOP] を 5 秒以上押しても実行できます)

- ディスクに録画する場合、先頭の数秒間が録画されないときがあります。録画前に記録学習を実行すると、ディスクに記録するための準備が行われ先頭から録画できるようになります。
- 記録学習中は、画面上に「録画の準備中です。しばらくお待ちください。」、本体表示窓に「PREP」が表示されます。
- 1枚のディスクに、繰り返し記録学習をすると、数十回で記録できなくなる場合があります。

■ 録画番組のタイトル名について

録画番組のタイトル名は、「録画開始時刻」になります。

例)2022年6月1日8時48分15秒に録画開始した場合

20220601-084815

☞ タイトル名を変更するには

番組名編集でお好みの名前に変更することができます。**(➜43)**

お知らせ

- **録画モードと記録時間の目安 (➜69)**
- **録画モードと記録時間の倍率について (➜35)**
- 録画中は予約録画が実行されません。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
- 「録画動作設定」が「エンドレス録画」**(➜20)** のときは、ディスクに直接録画できません。

録画中のいろいろな操作

一時停止する

[■一時停止] を押す

- 本体の [PAUSE] でも一時停止します。
- もう一度押す、または [**録画** ●] を押すと録画を再開します。（番組は分割されません）
- 一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。
- 「HDD/BD 同時録画」(➜20)で HDD とディスクに同時録画中は、一時停止できません。

録画中にチャプターマークを作成する

黄 を押す

- 本体の [REC] でもチャプターマークを作成できます。
- DVD-V チャプターマークの作成はできません。

静止画を保存する

HDD

録画しながら視聴しているとき、静止画を保存できます。

静止画保存 を押す

- 録画中の静止画保存は、録画終了後に行われます。
- 本機で録画した番組を一時停止して静止画を作成することもできます。

お知らせ

- 静止画の作成中は、録画や再生、視聴ができません。
- 録画中は、静止画を 100 枚まで保存できます。
- 「タイムスタンプ」(➜20) を「入」に設定すると、静止画に時刻が表示されます。
- 録画中に静止画を保存する場合、静止画のタイミングにわずかなずれを生じることがあります。
- 静止画の作成は、本機で録画したHDDの番組から行われます。

日時を指定して予約録画する

HDD BD-RE BD-R -R AVCREC -R VR -RW VR -R V -RW V

「録画動作設定」で、「エンドレス録画」（➜20）を選択している場合、予約録画できません。
新品のディスクに録画するときなど、ディスクのフォーマットが必要な場合があります。（➜50）

☞ HEVC 画質の番組の予約録画について（➜35）

1 **ホーム を押す**

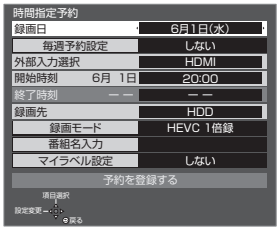
2 **「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す**

3 **「予約する」を選び、決定 を押す**

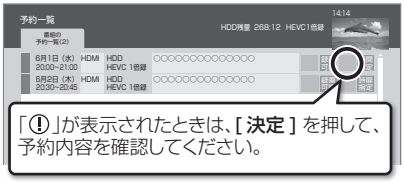
4 **「予約確認する」を選び、決定 を押す**

5 **録画 を押す**

6 **予約内容を設定する**
（➜32「時間指定予約」へ）



7 **「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す**



☞ **録画を止めるには**
[■ **停止**] を押す
（本体の [STOP] でも停止できます）

お知らせ

- 本機の日時が間違っている場合は、日時設定を行ってください。（➜57「日時設定」）
- 電源の入/切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- 本機では 128 番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は、1 番組として数えます）
- HDDとディスクに同時予約録画することはできません。

予約内容の設定

時間指定予約

❶ 項目を選び、設定する（➜ 下記へ）

❷ 設定が終了したら、
➜31「日時を指定して予約録画する」手順 7 へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎週予約を設定します。 ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。
外部入力選択	録画する入力を設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀]または[▶]を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モードを設定します。 （詳細版 ➜ 録画モードについて）
番組名入力	●文字入力について （詳細版 ➜ 文字入力） ●入力しなくても、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。設定すると、録画一覧（➜37）で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。（詳細版 ➜ 番組を消去する / 編集する ➜ マイラベル設定） ラベルを選び、[決定] を押す ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベル名は変更することができます。（➜41「分類ラベル設定」）

DVD に予約録画できる記録方式

AVCREC 方式	AVC（ハイビジョン画質）で記録できます。 （AVC1 ～ 15 倍録モードで記録） ● -RW ではできません。
VR 方式	MPEG2（DVD 画質）で記録します。 （XP、SP、LP、FR モードで記録）
ビデオ方式	

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 ホーム を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

3 「予約する」を選び、決定 を押す

4 「予約確認する」を選び、決定 を押す

5 番組を選び、以下の操作を行う



予約状況がマークで表示されます。
- 「 ⓘ 」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
- 毎日・毎週予約で HDD の残量が少ないため数週間後の予約ができない場合、「 ⓘ 」が表示されます。「毎週一覧」で確認してください。
- **表示マークについては（詳細版 ➜ 表示マーク一覧）**

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前 4 時には一覧から消去されます。
（消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます ➜ **右記**）

予約の取り消し

消去 または 黄 を押す

予約内容の修正

❶ 決定 を押す
❷ 「修正」を選び、決定 を押す（➜32「時間指定予約」）

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

❶ 決定 を押す
❷ 「毎週一覧」を選び、決定 を押す
- 予約の「重複」がある場合に **[決定]** を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。**（➜34）**

予約の実行を止める（一時解除）

❶ サブメニュー S を押す
❷ 「予約実行切」を選び、決定 を押す
- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
- **[サブ メニュー]** を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。

履歴一覧の表示

「一部未実行」など、録画ができなかった予約の履歴を一覧表示します。

❶ サブメニュー S を押す
❷ 「履歴一覧表示」を選び、決定 を押す
- 履歴を選択して削除することができます。**（➜ 下記）**

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

❶ サブメニュー S を押す
❷ 「履歴削除」を選び、決定 を押す
❸ 「はい」を選び、決定 を押す
- 予約一覧で消去された場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

録画 / 予約録画に関するお知らせ

予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることはできます。（録画に影響はありません）

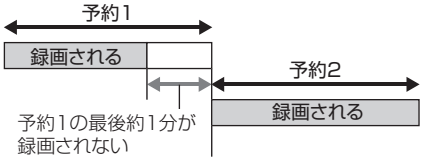
静止画作成中の予約録画について

本機が静止画を作成しているときは、予約録画は実行されません。静止画の作成後に録画を開始します。**(➜31)**

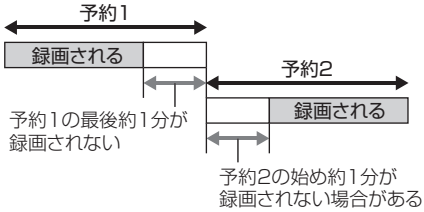
前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

以下の場合は、前の予約の終わり約 1 分が録画されません。

- 複数の番組を録画できない状態のとき



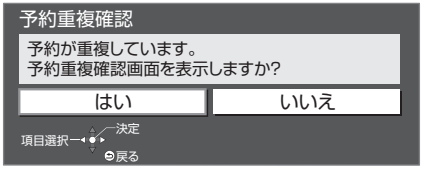
- 次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始め約1分も録画されない場合があります。



- 前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中の入力が次の予約の入力に切り換わる場合があります。

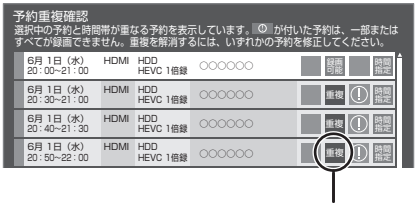
予約番組が重なっているとき
（31 ページ手順 7 のあと）

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。



「はい」を選ぶと予約重複確認画面が表示されます。

例）

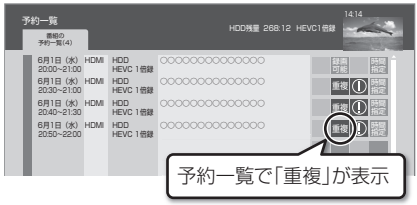


「重複」マークが付いた予約は、一部または
すべてが録画できません。

予約を選び、**[決定]** を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

例）



開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。
開始時刻が同じ場合、あとから予約した番組を優先して録画します。

番組を検索する

画質と記録時間について

HEVC（高圧縮）の場合

長時間の録画モードで録画する場合、映像によってはブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、HEVC1 倍録モードや HEVC1.5 倍録モードなど高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

AVC（ハイビジョン画質）の場合

長時間の録画モードで録画する場合、映像によってはブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、AVC1 倍録モードや AVC1.5 倍録モード など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

ディスクの残量不足などに対応（代替録画）

残量不足や未挿入、未接続などの理由でディスクに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に "HDD" に録画先を変更し、録画の開始から HDD に録画します。

お知らせ

- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

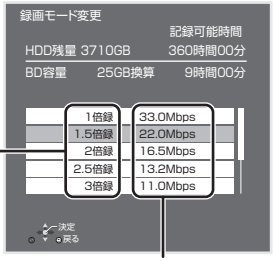
動画の自動作成 / 転送について

録画した番組の MP4 を自動で作成したり、動画を転送することもできます。
（M2TS は録画時に自動作成するので、設定はありません）

- MP4は録画時間が８時間を超える場合は、８時間ずつ分割して作成します。
- 動画・静止画の設定で、作成や転送設定が「入」のときに実行されます。**(➔21)**

録画モードと記録時間の倍率について

例）



記録時間の倍率　　情報量（ビットレート）※

※ 数値が大きいほど画質は良くなります。

AVC（ハイビジョン画質）の倍率や情報量は、AVC 1倍録モード（24 Mbps）で録画した場合との比較を表しています。
HEVC（高圧縮）の倍率や情報量は、HEVC 1倍録モード（33 Mbps）で録画した場合との比較を表しています。

- 2K の入力を HEVC 1 倍録で録画する場合は、HEVC 1.5 倍録相当で録画されます。

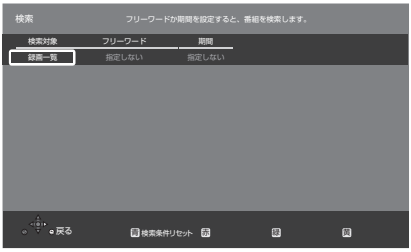
☞ **録画モードと記録時間の目安（➔69）**

複数の検索条件を組み合わせて、録画番組の中から番組を検索し、再生・編集をすることができます。

1 ホーム **を押す**

2 **「検索する」を選び、決定 を押す**

3 **検索条件を設定する（➔36）**



- 検索条件を指定しない項目は、「指定しない」を選んでください。
（**[赤]** を押して「指定しない」にすることもできます）

☞ **設定した検索条件をリセットするには**
[青] を押す

4 **すべての設定が終了したら、決定 を押す**



お知らせ

- 録画中の番組は、検索の対象になりません。
- フリーワードで英数の文字入力をした場合、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

番組を検索する（続き）

再生する

検索結果が表示されたあと（➜35）、

番組を選び、決定を押す

編集する

検索結果が表示されたあと（➜35）、

番組を選び、緑 を押す
（➜43「番組を編集する」手順 3）

☞ チャプターを編集するには
[サブ メニュー] を押して「チャプター一覧へ」を選び、**[決定]** を押す
（詳細版 ➜ チャプターの作成・再生・編集）

消去する

検索結果が表示されたあと（➜35）、

❶ 番組を選び、黄 を押す
❷「消去」を選び、決定を押す

検索条件について

検索対象	再生・編集したい番組を検索します。
録画先	録画番組のある録画先 ●「家じゅう」は、ホームネットワークで接続された機器の中から番組を検索することができます。
フリーワード	登録したワード **☞ フリーワードの登録について（➜ 右記）** ●録画一覧の番組名や番組内容にある文字情報から検索します。
期間	番組を録画した日時

検索条件によって表示される項目は異なります。

フリーワードを登録する

フリーワードは 20 件まで登録することができます。

❶「新規登録」を選び、決定を押す
❷ 項目を選び、設定する
☞ 文字入力（詳細版 ➜ 文字入力）



フリーワード：
入力文字の関連番組を検索します。

除外ワード：
入力文字の関連番組を検索対象から除外します。

検索方法：
検索時の組み合わせ方を設定します。
- 「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を検索します。
- 「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれか 1 つでも一致した番組があった場合、その番組を検索します。

❸ 設定が完了したら、「決定」を選び、決定を押す

☞ 登録したフリーワードを変更するには
① 変更したいフリーワードを選び、**[緑]** を押す
② 項目を選び、設定する
☞文字入力（詳細版 ➜ 文字入力）

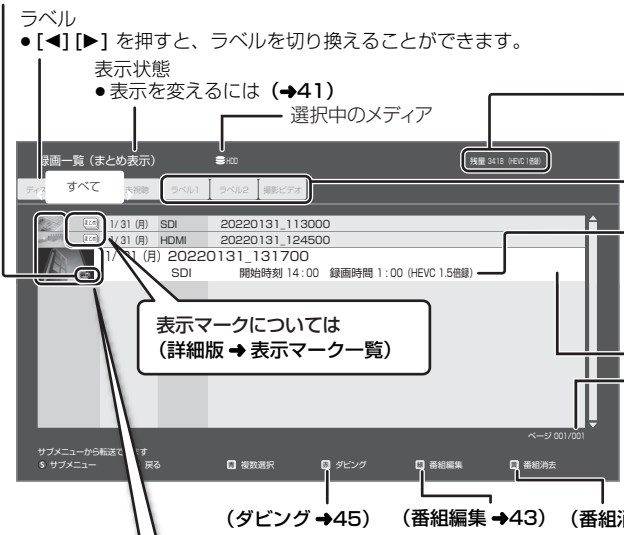
☞ 登録したフリーワードを削除するには
削除したいフリーワードを選び、**[黄]** を押す

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

例）

4K 画質の番組を HEVC で録画した番組には 4K が表示されます。

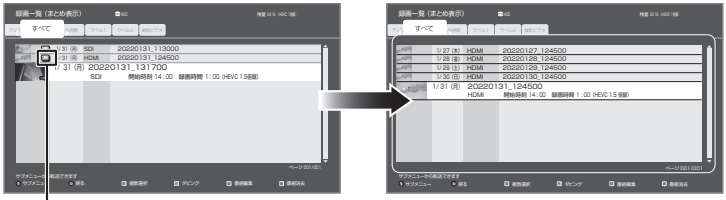


HDD 録画後すぐは「録画済」と表示
（画像は電源「切」時に作成されます）
- 表示される画像を変更するには（詳細版 ➜ 番組を消去する / 編集する ➜ サムネイル変更）
- 「家じゅう」「ディスク」の場合、画像は表示されません。

まとめ 番組について

毎日・毎週予約で録画した番組は、まとめ 番組として表示することができます。

① [サブメニュー] を押す
② 「その他」を選び、[決定] を押す
③ 「まとめ表示へ」を選び、[決定] を押す



まとめ 番組を選び、決定 を押すと、まとめ 番組内の番組を一覧表示します。

お知らせ

- 録画一覧に表示される残量は、AVC1 倍録モードではハイビジョン画質映像を 24 Mbps で録画したものとして、HEVC1 倍録モードでは 4 K/ 2 K 画質映像を 33 Mbps で録画したものとして計算されています。（➜35）
- 録画一覧は、録画やダビングまたは本機に取り込んだ日付順に表示されます。

録画一覧について（続き）

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

家じゅう		「ホームネットワーク」で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。 **（詳細版 ➜ ホームネットワークを使う ➜ 別室の機器の映像を見る）** ●「家じゅうラベルの表示」**（➜63）**を「入」にすると、表示されます。 ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大 10 台まで、番組数は 1 台当たり最大 4000 番組までです。 ●「家じゅう」ラベルから他のレコーダーの番組を再生した場合、接続機器側の「通信／映像品質の設定」は働きません。映像が途切れたり停止する場合は、ホーム画面の「ホームネットワーク」から再生してください。
ディスク		ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示） ● BD-V DVD-V では表示されません。
HDD	**すべて**	すべての番組
	未視聴※	録画してまだ見ていない番組 ● 番組の先頭から30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は、「未視聴」から除外されます。
	マイラベル※	「マイラベル設定」で設定した番組のみを表示します。**（➜32）、** **（詳細版 ➜ 番組を消去する / 編集する ➜ マイラベル設定）** ● マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ● マイラベル名は変更することができます。**（➜41「分類ラベル設定」）**
	撮影ビデオ	● ディスクや USB 機器から取り込まれた動画（AVCHD） **（詳細版 ➜USB・ディスクから撮影ビデオを取り込む）**

※分類ラベル設定**（➜41）**で録画一覧に表示するラベルを変更できます。

録画した番組を再生する

録画した番組を再生する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

ディスクを再生する場合
① ディスクを入れる
② [ホーム] を押す
③「メディアを使う」を選び、[決定] を押す

例）BD-RE



上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、** 決定 **を押す**



- （まとめ表示のとき）
  毎日・毎週予約した番組は、まとめ 番組内に録画されます。まとめ 番組を選んで、[決定] を押すと、まとめ 番組内の番組を表示できます。

録画しながら再生する（追っかけ再生／同時録画再生）

- HDDやUSB-HDDの録画中に追っかけ再生できます。
- 録画中に録画済の番組を再生できます。（同時録画再生）ただし、ディスク録画中は、ディスクの再生はできません。

1 録画一覧 **を押す**

2 **録画中の番組を選び、** 決定 **を押す**

お知らせ

- 録画終了後に静止画を作成している場合は、追っかけ再生や同時録画再生はできません。
- 入力解像度、録画モードの組み合わせによっては、追っかけ再生や同時録画再生ができません。**(詳細版➜仕様)**

録画時の便利な機能

■ 通常録画（➜20）
選択中のドライブ (HDD または BD) への録画が可能になります。

■ HDD/BD 同時録画（➜20）
HDD とディスクに同時に録画することができます。

■ エンドレス録画（➜20）
HDD に録画し続けることができます。

■ 自動消去（➜20）
HDD の記録可能時間が少なくなった場合、古い番組から自動的に消去します。

■ トレイ制御（➜20）
ディスクへ録画中にディスク残量がなくなると、自動的にディスクトレイが開きます。

お知らせ

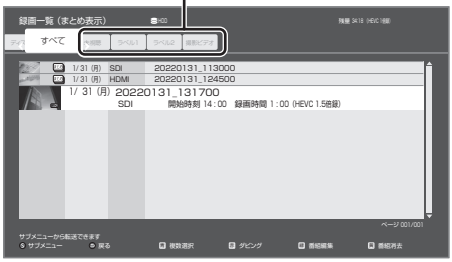
- **表示マークについては（詳細版 ➜ 表示マーク一覧）**
- **他の機器で作成したプレイリストのディスクの再生**
  ① [ホーム] を押す
  ②「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
  ③「ブルーレイ (BD)/DVD」を選び、[決定] を押す
  ④「プレイリストを見る」を選び、[決定] を押す
- **3D 映像を楽しむには**
  （詳細版 ➜Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、DVD ビデオを再生する ➜3D 映像を楽しむ）
- **[録画一覧]** を押すと BD-V や DVD-V の再生が始まる場合、**[HDD]** を押してドライブを HDD に切り換えてください。

録画した番組を再生する（続き）

録画一覧上での便利な機能

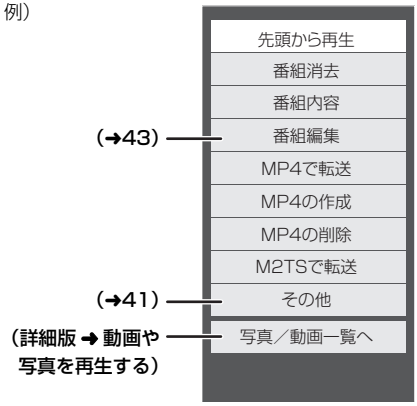
❶ **番組を選び、サブメニュー（S）を押す**

- 「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベルを選んでから **[サブ メニュー]** を押して **[その他]** を選んでください。



❷ **項目を選び、決定を押す（➜ 下記へ）**

例）



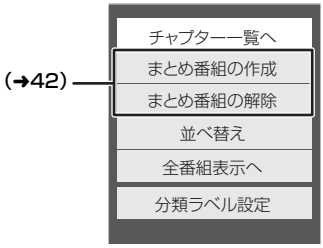
先頭から再生 HDD	番組を最初から再生します。
番組消去	消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。**「消去」を選び、[決定] を押す**
番組内容	番組の内容が確認できます。
MP4 で転送	**（➜48）** ● MP4 が作成されていない場合は、変換して転送します。
MP4 の作成	**（➜21）** ● MP4の作成では、いったん作成待ち状態になったあと、自動的に作成されます。
MP4 の削除	作成した MP4 を削除します。
M2TS で転送	**（➜48）**
一覧を更新 更新を中止 ●「家じゅう」ラベル選択時のみ	「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。

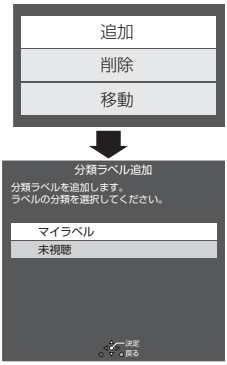
お知らせ

- MP4 を作成できるのは、本機で録画した HDD の番組からのみです。

その他の表示について

例)「まとめ表示」時



チャプター一覧へ	チャプターを再生、編集します。**(詳細版 ➜ チャプターの作成・再生・編集)**
並べ替え HDD	録画一覧に表示する番組の並び順の設定を行います。 ▶ 録画日時の古い順 ▶ 録画日時の新しい順 ▶ 番組名順 ▶ 番組名逆順
全番組表示へ まとめ表示へ HDD	表示を切り換えます。
分類ラベル設定 HDD	録画一覧に表示するラベルを追加、削除、移動します。  **表示させたいラベルを選び、[決定] を押す** ● 追加できるラベルは最大8個です。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、**[決定]** を押す ②「名称変更」を選び、**[決定]** を押す (ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください) ③ ラベル名を入力する **(詳細版 ➜ 文字入力)**

録画した番組を再生する（続き）

再生時の便利な機能

■ 自動電源 ON（➜19）
電源コード接続時に自動的に本機の電源が「入」になります。

■ 自動再生（➜19）
電源を入れたとき、電源「切」前に選択していたドライブを自動的に続きから再生します。

■ タイトルリピート（➜19）
再生を開始すると、自動的にリピート再生します。

■ 録画一覧再生位置（➜20）
番組一覧を開いたときに、最初に選択される番組を設定することができます。

■ 操作表示を非表示にする（➜57）
「画面表示動作 [オート]」を「切」に設定すると、「読み込み中です。」などの本機の状態や操作の表示を非表示にできます。

■ 静止画を保存する（➜31）
再生中に一時停止して、静止画を作成することができます。

まとめ番組について

HDD
毎日・毎週予約で録画した番組は、録画一覧画面で まとめ 番組として表示することができます。**（➜37）**

- まとめ 番組は、まとめ 番組内で最後に録画や記録された番組の日付で表示します。

まとめ 番組内の番組を連続して再生する（まとめ再生）

まとめ 番組を選び、►再生 を押す

まとめ 番組の番組名について

「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最後に録画された番組の番組名が付きます。

- まとめ 番組名を変更 **（➜43）** しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

❶ 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

❷ すべて選んだあと、サブメニュー（S） を押す

❸「その他」を選び、決定 を押す

❹ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。 （まとめ番組一覧表示のとき）

番組を消去する / 編集する

番組を消去する

HDD BD-RE BD-R -R -RW
消去すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、黄 を押す**



- まとめ 番組内の番組を消去する場合、**[黄]** を押す前に、**[決定]** を押して、まとめ 番組内の番組を表示してください。
- 複数の番組を消去する場合、番組を選んで **[青]** を押す操作を繰り返してください。
（選んだ番組には ☑ が表示されます。
もう一度 **[青]** を押すと選択を取り消します）

3 **「消去」を選び、決定 を押す**

お知らせ

- まとめ 番組内の番組を消去して、残り 1 番組になった場合、まとめ 番組は解除されます。
- HDD の番組消去について
  - 消去が完了しても、HDD の残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。
- 消去後のディスク残量について
  - HDD BD-RE -RW VR
    消去すると、消去した分、残量が増えます。
  - -RW V
    最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。
  - BD-R -R 消去しても残量は増えません。

番組を編集する

HDD BD-RE BD-R -R -RW
（ファイナライズしたディスクや AVCHD では編集できません）

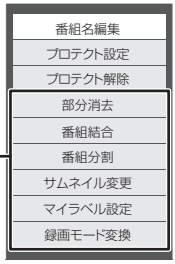
1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、サブメニュー (S) を押す**

3 **「番組編集」を選び、決定 を押す**

4 **項目を選び、決定 を押す（➜下記へ）**
例）HDD

（詳細版 ➜ 番組を消去する / 編集する）



お知らせ

- 編集量が多い場合、ディスクへダビングできないことがあります。
- 録画中は編集できません。

番組名編集

番組名を編集できます。

☞ 文字入力（詳細版 ➜ 文字入力）

お知らせ

- まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。
- -R V -RW V できません。

「番組を編集する」（➜ 上記）手順 1 ～ 3 のあと「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す
- プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

番組を消去する / 編集する（続き）

録画モード変換
HDD

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

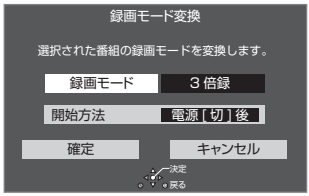
録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

- HEVC（高圧縮）の番組
  HEVC、AVC、MPEG2 の画質に変更できます。
- AVC（ハイビジョン画質）の番組
  AVC、MPEG2 の画質に変更できます。
- MPEG2（DVD 画質）の番組
  MPEG2 の画質に変更できます。

「番組を編集する」（➜43）手順 1 ～ 4 のあと

❶ HEVC（高圧縮）を変換する場合、「HEVC（高圧縮）」、「AVC（ハイビジョン画質）」または「MPEG2（DVD 画質）」を選び、[決定] を押す

❷ 画面上で「録画モード」を選び、[決定] を押す



❸ 倍率を選び、[決定] を押す

❹「開始方法」を選び、開始方法を設定する

- **すぐに**：
  「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は視聴や再生はできません。
- **電源 [切] 後**：
  電源「切」後、変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

❺「確定」を選び、[決定] を押す

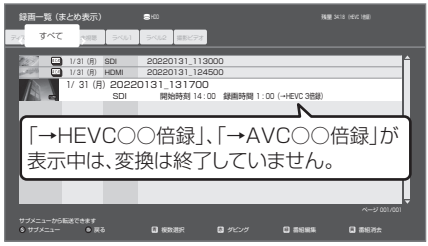
❻「すぐに」開始する場合：
「開始」を選び、[決定] を押す

☞ **変換を実行中に中止するには**
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」開始する場合：
[決定] を押す

☞ **変換の設定内容を変更・取り消しするには**
① **43 ページ「番組を編集する」手順 4** で「録画モード変換」を選ぶ
②「設定変更」または「設定取消」を選び、**[決定]** を押す

☞ **変換が終了しているか確認するには**



お知らせ

- LP、FR モードの番組や HDD に取り込んだハイビジョン動画（AVCHD）は変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」**（➜59）**で記録したい音声を選んでください。
- 他社製機器で録画された番組は、HEVC1.5 ～ 8 倍録モードの録画モードに変換できません。

ダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD ➡ BD-RE BD-R -R -RW

HDD にある番組をディスクにダビングします。

- 操作の前に記録可能なディスクを入れてください。
- HEVC（高圧縮）でダビングする場合は、BD-RE BD-R を使用してください。

1 ダビング を押す

2 「かんたんダビング」を選び、決定 を押す

- -R 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
  画質を選び、**[決定]** を押してください。

3 番組を選び、決定 を押す

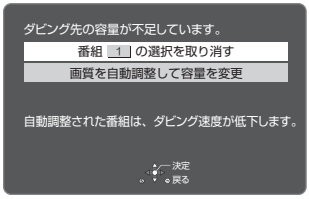
- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで **[青]** を押す操作を繰り返してください。
  （選んだ番組には ☑ が表示されます。
  もう一度 **[青]** を押すと選択を取り消します）



☞ **かんたんダビングの画面について（詳細版➡ダビングする➡かんたんダビング➡かんたんダビングの画面の見方）**

☞ **選んだ番組がディスク残量を超える場合**
確認画面が表示されます。

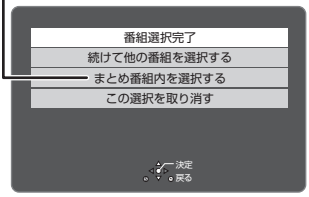
例）



「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

4 「番組選択完了」を選び、決定 を押す

手順3でまとめ番組を選んだときのみ表示



- 他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。**(➜ 手順 3 へ)**

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- オプション設定について**(詳細版➜ダビングする ➜ かんたんダビング ➜ ダビングの便利な機能)**

6 「はい」を選び、決定 を押す



- 新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットしたあと、ダビングを始めます。

☞ **ダビングを実行中に中止するには**
[戻る] を 3 秒以上押す
- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作について**(詳細版➜ダビングする➜ダビング時の動作について)**

☞ **ダビングの進行状況を表示するには**
ホーム画面の「ダビングする」を選ぶと進行状況を確認できます。

お知らせ

- ダビング中は予約録画ができません。
- 「MPEG2（DVD 画質）」で未フォーマットの -R -RW にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
  - 1 **(詳細版 ➜ 記録の制限について)** の番組が含まれている場合：VR 方式
  - 1 の番組が含まれていない場合：ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。
- 「プロテクト設定」**(➜43)** されている 1 の番組はダビングできません。
- まとめ 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、**[サブメニュー]** を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- ダビング中に電源を切ることはできません。
- HEVC（高圧縮）の番組とそれ以外の番組を同じディスクにダビングすることはできます。

ダビングする（続き）

詳細ダビング

ダビング方向：

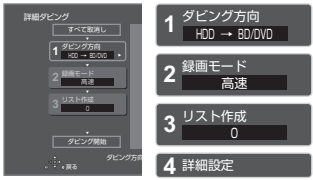
- HDD ➡ HDD BD-RE BD-R -R -RW
- BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR ➡ HDD
- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜50）

1 ダビング を押す

2 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

3 項目を選び、[▶]（リモコンの右ボタン）を押す

- 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。



1 ダビング方向 HDD → BD/DVD （➜ 右記）
2 録画モード 高速 （➜ 右記）
3 リスト作成 0 （➜47）
4 詳細設定 （➜47）

4 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

5 「ダビングする」または「ダビング後に電源［切］」を選び、決定 を押す

☞ ダビングを実行中に中止するには

［戻る］を 3 秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作について（詳細版➜ダビングする➜ダビング時の動作について）

お知らせ

- ダビング中に録画番組の再生などをしたときは、本体表示窓に「DUB」が表示されます。



- 録画モードを「HEVC 5倍録」から「HEVC 8倍録」に設定して BD-RE BD-R に画質変更ダビングはできません。いったん「録画モード変換」（➜44）で録画モードを変えたあと、高速ダビングしてください

ダビング方向

❶ 「ダビング元」を選び、決定 を押す

❷ ダビング元を選び、決定 を押す

❸ 「ダビング先」を選び、決定 を押す

❹ ダビング先を選び、決定 を押す

お知らせ

- HDD ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。（複製後は まとめ 番組になります）
  - 1回 表示のある番組の複製はできません。

録画モード

❶ 「録画モード」を選び、決定 を押す

❷ 録画するモードを選び、決定 を押す



- ［サブ メニュー］を押して、録画モードの倍率を変更することができます。（➜ 35）

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安（➜69）
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- 録画モードを「高速」以外に設定すると、ダビング中の予約録画は実行されません。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。
- 録画番組の内容によっては、「オート（自動調整）」を選択しても、空き容量が大幅に残ることがあります。
- -R AVCREC AVC1 倍録モードを選んでも、AVC1.5 倍録モードでダビングします。

リスト作成（番組を選択する）

❶「新規登録」を選び、(決定) を押す

❷ 番組を選び、青 ▭ を押す

- ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。
- ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

☞ **選択を取り消すには**
番組を選び、**[青]** を押す

❸ 選び終わったあと、(決定) を押す

お知らせ

- 高速モードで **BD-RE** **BD-R** にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ選択できます。
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
  ・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

（**-R** **-RW** へダビングするときのみ）

❶「ファイナライズ」を選び、(決定) を押す

❷「入」または「切」を選び、(決定) を押す

（**BD-RE** **BD-R** **-R AVCREC** へ AVC1 ～ 15 倍録 モードを選んでダビングするときのみ）
複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

❶「音声・字幕の記録」を選び、(決定) を押す

❷「モード 1」または「モード 2」を選び、(決定) を押す

- モード 1 ：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- モード 2 ：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」で記録する内容を設定してください。
  （詳細版 ➜ 再生設定をする ➜ 音声や字幕などの設定をする）

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ **（➜53）** を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。
- HEVC（高圧縮）の番組は「音声・字幕の記録」の設定が無効です。複数の音声や字幕のある番組をダビングする場合は **（詳細版 ➜ ダビングする ➜ ダビング時の動作について）**

ダビングの便利な機能

リスト作成画面**（➜ 左記「リスト作成」手順 ❶ のあと）**で



❷ 番組を選び、サブメニュー (S) を押す

❸ 項目を選び、(決定) を押す **（➜ 下記へ）**

番組内容	番組の内容が確認できます。
並べ替え HDD	表示順を変更します。（全番組表示時のみ）
まとめ表示へ 全番組表示へ HDD	表示を切り換えます。

番組に ☑ が付いているときは機能の実行はできません。

リスト作成画面 **（➜ 左記「リスト作成」）** で



- 登録されたリストや設定を取り消す：
  「すべて取消し」を選び、**[決定]** を押す
- リスト項目を入れ替える：
  番組を選び、**[決定]** を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの全消去や追加、消去、移動をする：
  [サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ

動画や写真を転送する

HDD ➡ BD-RE BD-R USB NAS

本機では、HDD に録画した番組や静止画保存した写真をブルーレイディスクや USB 機器、ネットワーク（LAN）に接続された NAS（Network Attached Storage）に MP4 や M2TS、JPEG ファイルとして転送できます。

- 自動で転送を行いたい場合は、「自動転送」**(➔21)** を「入」に設定してください。（「自動転送」では、転送先に「BD」を選択できません）

1 一覧 画質 を押す

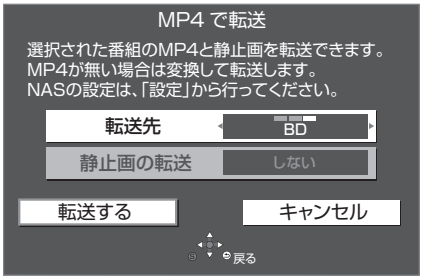
2 転送する番組を選び、サブメニュー (S) を押す



3 「MP4 で転送」、または「M2TS で転送」を選び、決定 を押す

4 「転送先」、「静止画の転送」を設定する

例）



5 「転送する」を選び、決定 を押す

☞ 実行中の転送を中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

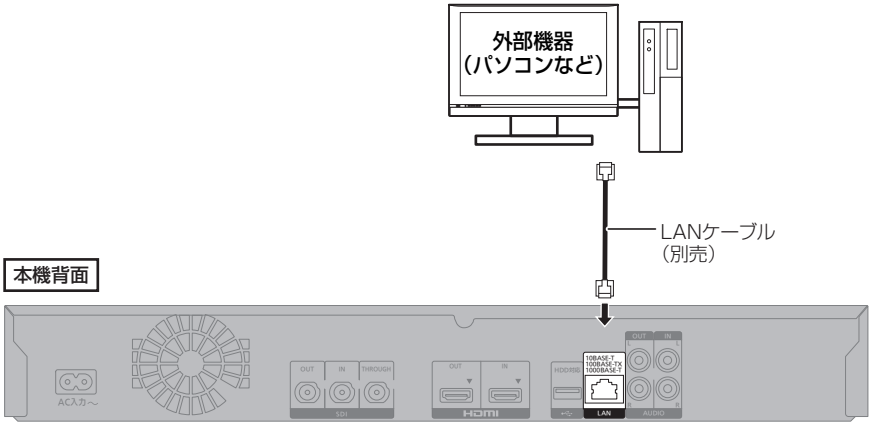
お知らせ

- ファイル転送中は、録画や再生はできません。また、予約録画も実行されません。
- ファイル転送しても、HDD から番組は消去されません。
- MPEG2 画質の番組は、M2TS ファイルで転送します。
- 転送先に同じ名称のファイルが存在する場合は、ファイル名を変更して転送します。
- 1 番組あたり最大 3000 の静止画や MP4 の保存が可能です。
- 転送先に NAS を選んだ場合は FTP で転送し、パッシブモードで接続します。本機と NAS 機器間で通信する NAS 機器の設定情報（ID ／パスワード、アドレスなどのデータ）は暗号化されていません。セキュリティを確保したローカルネットワークに接続し、無線 LAN を使用する場合は通信の暗号化の設定をして接続してください。

外部機器から本機を制御する

LAN ケーブルを使用して外部機器と接続する

本機の背面にある LAN 端子と外部機器（パソコンなど）を接続すると、外部機器（パソコンなど）から本機の情報を確認したり、操作することができます。



お知らせ

- その他の接続は、接続のページをご覧ください。(➜13 ～ 18)

外部機器からログインする

1 設定 **を押す**

2 **「ネットワーク設定」を選び、決定 を押す**

3 **「PC からのアクセス設定」を選び、決定 を押す**

4 **「PC からのブラウザアクセス」を選び、決定 を押す**

5 **「PC からのブラウザアクセス機能」を選び、決定 を押す**

6 **「入」を選び、決定 を押す**

- ユーザー ID、パスワード、アクセス用 URL が表示されます。（パスワードは、忘れないように控えておくことをお勧めします）
- ユーザー ID、パスワードを変更したい場合は、「ユーザー ID 変更」、「パスワード変更」で変更できます。

7 決定 **を押す**

8 **外部機器（パソコンなど）のブラウザで、アクセス用 URL を入力し、接続する**

9 **ユーザー ID とパスワードを入力し「ログイン」を押す**

☞ 外部機器からの制御については
（詳細版 ➜ 外部機器から本機を制御する）、
（詳細版 ➜ 外部制御コマンド一覧）

本機と外部機器（パソコンなど）間で通信するコマンドや本機の状態などのデータは暗号化されていません。セキュリティを確保したローカルネットワークに接続し、無線 LAN を使用する場合は通信の暗号化の設定をして接続してください。

本機で記録できるようにする（フォーマット）

BD-RE BD-R -R -RW

新品または他の機器で使っていたディスク



そのままでは本機で記録できない場合があります。

フォーマットすると



本機で記録できるようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

■ ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。
記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。（➜24）

ディスク	記録方式	記録できる画質	記録できる録画モード	フォーマット	備考
BD-RE BD-R	—	HEVC画質 AVC画質	HEVC1～8倍録 AVC1 倍録 AVC 1.5 ～ 15 倍録	必要	記録方式の設定はありません。
-R	AVCREC 方式	AVC画質	AVC 1.5 ～ 15 倍録	必要	
	VR 方式	MPEG2画質	XP SP LP FR	必要	
	ビデオ方式	MPEG2画質	XP SP LP FR	不要	コピー制限のある番組は記録できません。
-RW	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。			
	VR 方式	MPEG2画質	XP SP LP FR	必要	
	ビデオ方式	MPEG2画質	XP SP LP FR	必要	コピー制限のある番組は記録できません。

1 ホーム を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

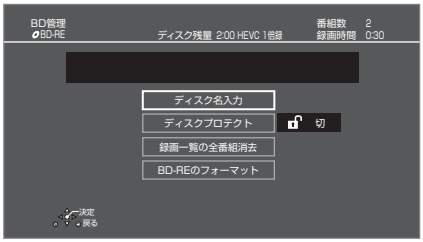
3 「ブルーレイ（BD）／ DVD」を選び、決定 を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定 を押す

- 未使用の -R を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。（➜ 手順 6 へ）

5 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

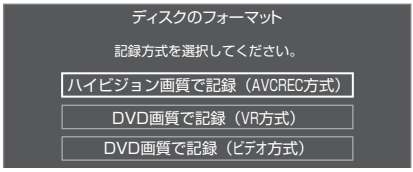
例）BD-RE



6 画面の指示に従って、フォーマットする

- DVD の場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例）-R



お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- -R 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」（➜52）を行うと記録方式を変更できません。
- -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 録画一覧の全番組消去

BD-RE BD-R -R -RW
（ファイナライズしたディスクではできません）

1 ホーム を押す

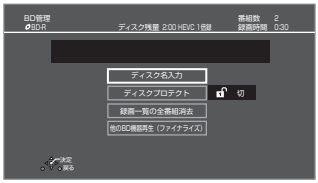
2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 「ブルーレイ（BD）／ DVD」を選び、決定 を押す

4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定 を押す

5 操作したい項目を選んで、決定 を押す
（➜ 下記へ）

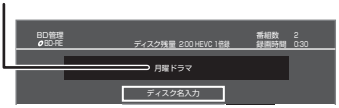
例）BD-R



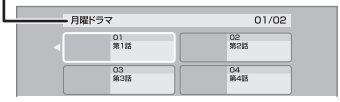
ディスク名入力

BD-RE BD-R -R -RW
☞ 文字入力（詳細版 ➜ 文字入力）

入力したディスク名は、BD 管理画面や DVD 管理画面に表示されます。



-R V -RW V
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

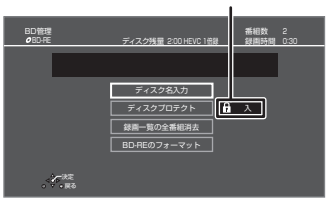


ディスクプロテクト

BD-RE BD-R -R AVCREC -R VR -RW VR
ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

❻ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す

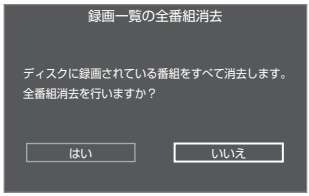
プロテクト設定すると「 入」が表示



録画一覧の全番組消去

BD-RE BD-R -R AVCREC -R VR -RW VR
全番組消去を行うと、元に戻すことはできません。よく確認してから操作を行ってください。

例）BD-RE



❻ 「はい」を選び、決定 を押す

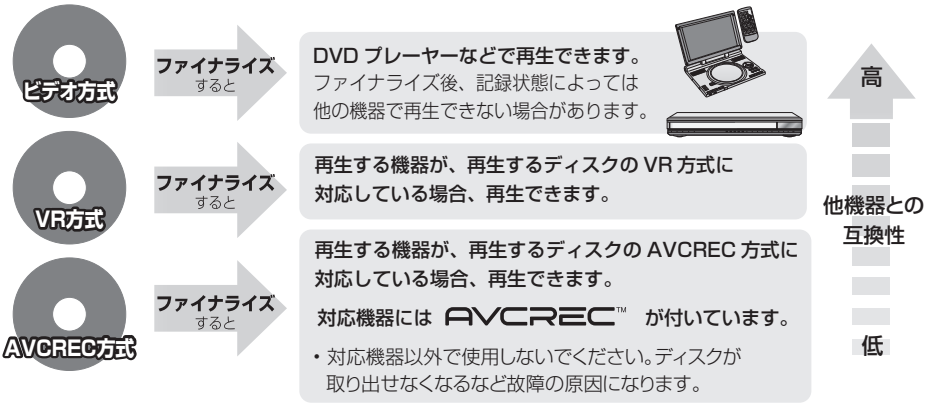
❼ 「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

- BD-RE BD-R 写真は消去されません。
- BD-R -R AVCREC -R VR 消去しても残量は増えません。

ファイナライズ

BD-RE ファイナライズは不要です。



52 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

-R V -RW V

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

❻ お好みの背景を選び、決定 を押す



- トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。**（詳細版 ➜ 番組を消去する / 編集する ➜ サムネイル変更）**

ファーストプレイ選択

-R V -RW V

ファイナライズ後のディスク再生の始め方を設定できます。

❻「トップメニュー」または「タイトル 1 」を選び、決定 を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ）
他の BD 機器再生（ファイナライズ）

-R -RW BD-R

❻「はい」を選び、決定 を押す

❼「実行」を選び、決定 を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- -RW V フォーマット（➜50）すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- -RW VR「ファイナライズ解除」（➜ 下記）を行うと、記録や編集ができます。
- BD-R ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

-RW VR

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

❻「はい」を選び、決定 を押す

❼「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。
ご使用のネットワーク環境に合わせて、接続（**➜ 右記、55**）とネットワーク設定（**➜62**）を行ってください。
本機は、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ずルーターなどを経由して接続してください。

宅内ネットワーク機能

同じフロアやビル内など、限られた範囲のネットワーク環境下で使うことができます。

- **ホームネットワーク**
  （詳細版 ➜ ホームネットワークを使う）
- **PC からのブラウザアクセス（➜49）**
- **PC からのコマンド制御（➜63）**

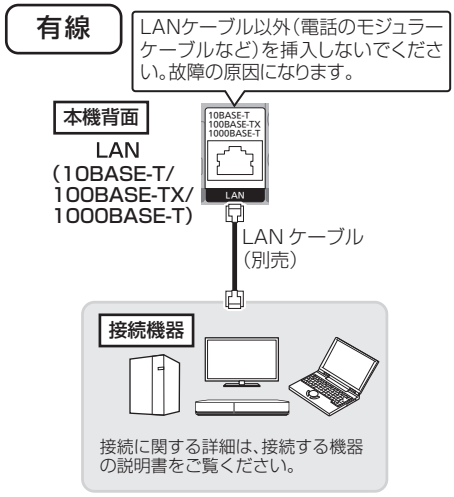
インターネット機能

- **Ultra HD ブルーレイを楽しむ**
  （詳細版 ➜Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、DVD ビデオを再生する）
- **BD-Live を楽しむ**
  （詳細版 ➜Ultra HD ブルーレイや BD ビデオ、DVD ビデオを再生する）
- **NTP 設定を使用した時刻合わせ（➜62）**

お知らせ

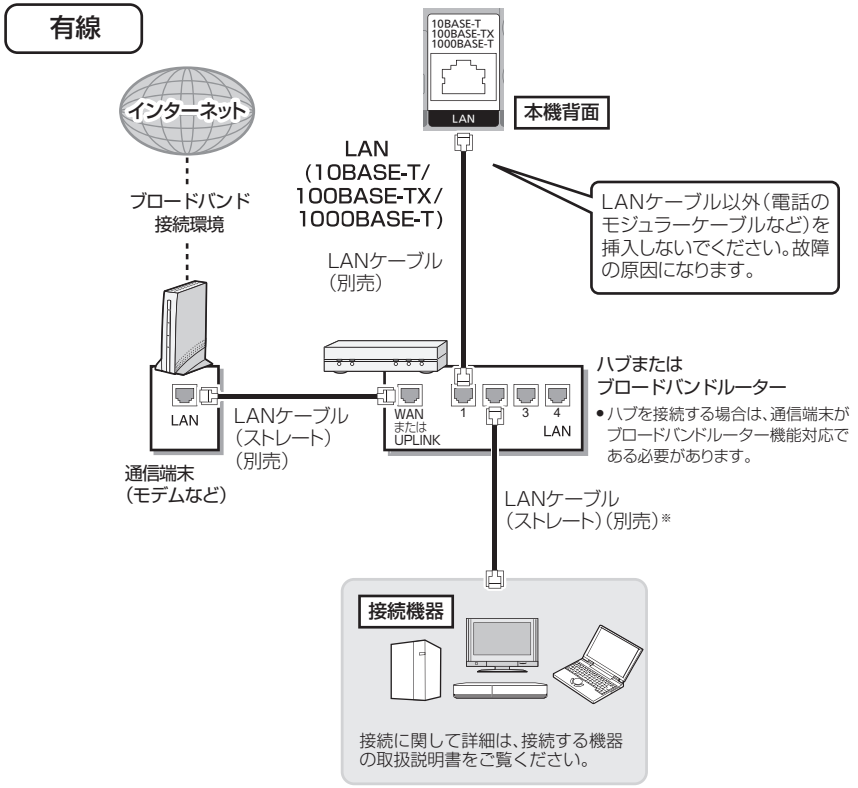
- CAT5e 以上の規格に適合した STP（シールドツイストペア）の LAN ケーブルをご使用ください。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続してください。
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

各機器と直接接続する



- LAN ケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません。

ハブまたはブロードバンドルーターを使って各機器と接続する



※ 接続機器とルーターは、LAN ケーブルで接続してください。

ネットワーク接続をする（続き）

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 100BASE-TX/1000BASE-T 対応の機器をお使いください。
- ルーターのセキュリティー設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。

ネットワーク機能を快適に利用するために

不正利用を防ぐために

- 第三者に譲渡したり廃棄する場合は、**「すべての設定リセット」（➜64）**を実行してください。（「PC からのアクセス設定」で使用する ID やパスワードなどが変更されます）
- 当社では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- 第三者が不正にネットワークに入れないように、本機を接続するローカルネットワークにはセキュリティ設定をしてください。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器（モデム、ルーターやハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 本機で使用するパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作や操作不能状態などから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

設定を変える

1 設定 **を押す**

2 **変更したい項目を選び、決定 を押す**



3 **設定項目を選び、決定 を押す**

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

4 **設定内容を変更する**

☞ **設定画面を終えるには**
[設定] を押す

機器設定

【 】はお買い上げ時の設定です

自動電源オフ 【切】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。
時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコンモード（➜65） 【リモコン 1】

リモコンモードの設定を行います。

日時設定

本機は時刻を合わせて工場出荷されていますが、正確な時刻を必要とするときは、ご使用前に時刻を確認し、時刻を合わせてください。

画面表示動作〔オート〕 【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能 【切】

「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- HDMI 出力端子と接続して、「出力解像度」が「480p 固定」以外のとき黒帯部分を明るくします。**(➜61)**

本体表示窓の明るさ 【常時 明】

本体表示窓の明るさを調節します。

設定を変える（続き）

システム機能（➜19）

- 自動電源 ON 【切】
- 自動再生 【切】
- タイトルリピート 【切】
- 自動チャプター作成
  - 自動チャプターモード 【切】
  - チャプター間隔 【15分】
- 録画一覧再生位置 【最後】
- スクリーンセーバー 【入】
- 録画機能設定
  - 録画動作設定 【通常録画】
  - システムリセット時刻設定
  - 自動消去 【無効】
  - タイムスタンプ 【切】
  - トレイ制御 【入】
- 動画・静止画の設定
  - MP4 自動作成 【切】

    番組を MP4 フォーマットで作成します。
    - 録画時間が 8 時間を超える場合は、8 時間ごとに分割します。
  - 動画・静止画自動転送
    - 自動転送 【切】
    - 動画 【切】
    - 静止画 【切】
    - 転送先 【USB】
- タイマー機能
  - 電源 ON 設定 【切】
  - 設定時刻
  - 毎週予約設定（ON）
    - 毎週予約 【しない】
    - 月 【しない】
    - 火 【しない】
    - 水 【しない】
    - 木 【しない】
    - 金 【しない】
    - 土 【しない】
    - 日 【しない】
  - 電源 OFF 設定 【切】
  - 設定時刻
  - 毎週予約設定（OFF）
    - 毎週予約 【しない】
    - 月 【しない】
    - 火 【しない】
    - 水 【しない】
    - 木 【しない】
    - 金 【しない】
    - 土 【しない】
    - 日 【しない】

診断コード（➜67）

HDD・USB 機器・再生記録設定

【 】はお買い上げ時の設定です

再生設定

DVD-Video の視聴制限※1　【8 すべて視聴可】

DVD ビデオの視聴制限のレベルを設定できます。
この設定したレベルによって制限対象となる DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。
設定変更や解除のためには暗証番号の入力が必要です。

BD-Video の視聴可能年齢※1　【無制限】

年齢制限がある BD ビデオ（Ultra HD ブルーレイも含む）の視聴可能な年齢を設定できます。
この設定した年齢によって制限対象となるBDビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。
●「年齢入力」を選んで **【決定】**を押すと、**【1】～【9】**で年齢を入力できます。
設定変更や解除のためには暗証番号の入力が必要です。

BD-Live インターネット接続※1　【有効（制限付き）】

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

3D ディスクの再生方法　【3D 再生】

3D ディスクの再生方法を選びます。

音声言語※2　【日本語】

再生時の音声を選びます。
●「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語※2　【オート】

再生時の字幕言語を選びます。
●「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語※2　【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード　【切】

BD-RE　BD-R　RAM AVCREC　-R AVCREC

AVC（ハイビジョン画質）の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。
●「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はAVC（ハイビジョン画質）の番組を再生します。

※1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[9]で暗証番号を入力してください。
暗証番号は忘れないでください。

※2「その他＊＊＊＊」の場合、＊には **[1]**～**[9]**で言語番号 **（詳細版 ➜ 設定を変える ➜ 言語番号一覧）**を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

記録・ダビング設定

外部入力などの記録設定

外部入力音声設定　【ステレオ】

二重音声記録時の音声選択　【主音声（L／R）】

二重音声（二ヵ国語）番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

DVD-Video 記録の設定 -R V　-RW V

外部入力音声設定　【ステレオ】

二重音声記録時の音声選択　【主音声（L／R）】

二重音声（二ヵ国語）番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定　【オート】

記録時のアスペクトを設定します。

高速ダビング速度　【最高速モード】

高速モードでのダビング速度を設定します。
（高速記録対応ディスクの場合など）

ムーブバックエラー制御　【中断】

ムーブバック中にディスクの汚れや劣化によるエラーを検出したときの制御を設定します。

MP4 取り込み画質　【高画質モード】

動画の取り込み **（詳細版 ➜ 動画（MP4）を取り込む）**を行うときの画質を設定します。

HDD 設定

HDD 管理

録画一覧の全番組消去

録画した番組をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

USB 機器設定

USB 機器の取り外し（➜27）
別売の USB 機器を本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB 機器を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB 機器管理
別売の USB 機器の初期化を行います。

映像・音声設定

【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード 【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。
- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生 【入】

部分消去した箇所などを滑らかに再生します。
- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

音声のダイナミックレンジ圧縮 【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
音声が Dolby Audio™（Dolby® Digital、Dolby Digital Plus™、Dolby® TrueHD）のときに有効です。
- 「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

HDMI 出力

Dolby Audio 【オート】
DTS/DTS-HD 【オート】
AAC 【オート】
音声の出力方法を選びます。
- 出力される音声については、「デジタル出力される音声と接続・設定の関係」**（詳細版 ➜ 仕様）**をご覧ください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む BD-V）
【自動切換】
BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

- **Dolby Atmos®や DTS:X®、AURO-3D®に 対応した BD ビデオを楽しむには**
  上記音声出力に対応した AV アンプなどに HDMI ケーブルで接続し、以下のように設定してください。
  ・Dolby Audio：「オート（Bitstream）」
  ・DTS/DTS-HD：「オート（Bitstream）」
  ・BD ビデオ副音声・操作音：「切」

ダウンミックス 【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。
- 「HDMI 出力」**（➜上記）**が「オート」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
  ・AVCHD 再生時
  ・BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

記録音声選択 【エンベデッド】

記録する音声を選択します。**（➜21）**

音声ディレイ 【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

会議記録モード 【切】

テレビ会議システムを接続している場合に、会議中に出力する音声を設定します。**（➜21）**

HDMI・SDI 接続設定

【 】はお買い上げ時の設定です

出力端子優先モード 【HDMI 出力優先】

映像出力を HDMI 出力端子からにするか、SDI 出力端子からにするかを選びます。**(➜22)**

HDMI 接続設定

入力解像度 【オート】

HDMI 入力端子から入力する解像度を設定します。

出力解像度 【オート（※）】

接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。

- 4K 対応テレビと接続する場合、通常は「オート」を選択してください。

※ 最高解像度を表示します。

HDMI 4K/60p 伝送モード 【出力なし】

4K/60p 対応テレビに接続し、「出力解像度」**(➜上記)** を「オート」に設定したときに、自動で 4K/60p 出力します。

接続するテレビに合わせて設定します。

- 「高速（18Gbps）」:
  4K/60p (4:4:4/8 bit) または 4K/60p (4:2:2/12 bit) 対応テレビと接続時
  ・HDMIケーブルが 18 Gbpsに対応していない場合は、映像が正常に出力されません。
- 「通常（10.2Gbps）」:
  4K/60p（4:2:0/8 bit）対応テレビと接続時

24p 出力 BD-V AVCHD 【オート】

映画など 24p で記録された素材を再生時に、自動で 24p 出力します。

24p 以外で記録された素材は 60i または 60p で出力されます。

- 4K/24p 対応テレビと接続している場合
  「出力解像度」**(➜上記)** を「オート」に設定時に 4K/24p で出力されます。
- 1080/24p 対応のテレビと接続している場合
  「出力解像度」**(➜上記)** を「オート」または「1080i 固定」、「1080p 固定」に設定時に 1080/24p で出力されます。

HDR10 ＋ 【入】

シーンごとにテレビ側で最適なトーンマッピングを自動的に調整します。

音声出力 【入】

「切」に設定すると、HDMI 出力端子から音声は出力されません。

HDMI 詳細設定

Deep Color 出力 【オート（12bit 優先）】

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

HDCP 出力設定 【オート】

アンプ（スピーカー）経由で HDCP2.2 非対応のテレビと接続すると、一部の映像が黒画面になる場合があります。その場合は、「HDCP1.4 制限出力」に設定してください。

強制 HDCP 出力 【切】

HDCP（不正コピー防止技術）対応機器との接続時に「入」に設定してください。

HDCP非対応機器に著作権フリーの番組を出力する場合は、「切」に設定してください。(著作権のあるコンテンツは設定にかかわらず、HDCP で出力されるため HDCP 非対応機器に映像は映りません)

HDCP 非対応機器に接続して使用中、誤って強制 HDCP 出力を「入」に変更した場合、映像が乱れるなど正常に出力されなくなります。その場合は、以下の操作をしてください。

① **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に 5 秒以上押す
　・本体表示窓に “00 RET” が表示されます。
② 本体表示窓に “11 FHA” が表示されるまで **[▶]**（リモコンの右ボタン）を数回押す
③ **[決定]** を押す
　・「切」に設定されます。

7.1ch 音声リマッピング BD-V 【オート】

接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、6.1チャンネル以下の LPCM サラウンド音声を自動的に7.1チャンネルに拡張して再生します。

- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1チャンネルの場合は 5.1 チャンネルで再生します)

コンテンツタイプフラグ 【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

3D 番組の出力方法 【3D】

3D 番組を 2D 再生することができます。

3D 再生時の注意表示 【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

SDI 接続設定（➜23）

HDMI・SDI 共通設定

カラースペース	【YCbCr（オート）】
HDR ／色域出力	【HDR/BT.2020 （オート）】
HLG ／ PQ 変換設定	【オート】
HDR ディスプレイタイプ	【再生映像に応じて設定】
4K コンバートモード	【ダウンコンバート】

ネットワーク設定

【 】はお買い上げ時の設定です

IPアドレス／DNS／プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス ／ DNS ／プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP※サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」**（➜上記）**を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS
セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」**（➜上記）**を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、インターネットサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号 【0】

接続テスト

NTP 設定

本機とネットワーク接続した NTP サーバーを使用して、時刻を自動で合わせることができます。

標準に戻す

NTP 機能 【切】

NTP サーバー設定

接続テスト

宅内リモート接続設定（➜66）

宅内リモート接続機能 【切】

- 「入」にすると、「ホームネットワーク機能」**（➜ 下記）**は自動的に「入」になります。
- 「切」にすると、「PC からのブラウザアクセス機能」および「PC からのコマンド制御機能」**（➜右記）**は自動的に「切」になります。

ホームネットワーク設定（➜66）

ホームネットワーク機能 【切】

- 「切」にすると、「宅内リモート接続機能」**（➜上記）**、「PC からのブラウザアクセス機能」および「PC からのコマンド制御機能」**（➜右記）**は自動的に「切」になります。

本機の名称

アクセス許可方法 【自動】

通信／映像品質の設定 【オート】

詳細設定

- 画質を優先する場合は「モード 1（画質優先）」を、通信安定性を優先する場合は「モード 5（通信優先）」を選んでください。

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

家じゅうラベルの表示 【切】

- 「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報を HDD に書き込みます。（HDD の容量が不足している場合、「入」にはできません）

自動更新 【入】

- 「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。
（更新は 1 日に 1 回程度、電源「切」時に行います）

接続する機器一覧

- 「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

- 「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

PC からのアクセス設定

PC からのブラウザアクセス

PC からのブラウザアクセス機能 【切】

アクセス用 URL 表示／ユーザー ID 表示

ユーザー ID 変更

パスワード変更

PC からのコマンド制御

PC からのコマンド制御機能 【切】

パスフレーズの確認

パスフレーズの更新

NAS 設定

NAS 機能 【切】

接続するデバイス

ホスト名（アドレス）
ポート番号 【21】
ホスト側フォルダ
ホスト側文字コード
ユーザー ID
パスワード
接続する

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

設定リセット

すべての設定リセット

日時設定以外の設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報や、予約内容も消去します。廃棄などで本機を手放される場合や、「故障かな!?」**（詳細版 ➜ 故障かな !?）**に記載された対応以外には、実行しないでください。

以下の手順ですべての設定リセットを実行することもできます。

① **［決定］**と**［青］**と**［黄］**を同時に 5 秒以上押す
・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“18 NO2”が表示されるまで**［▶］**（リモコンの右ボタン）を数回押す
③ **［■ 停止］**を 3 秒以上押す
④ 本体表示窓に“19 PIR”が表示されたら、**［決定］**を 3 秒以上押す
・リセットが完了すると“END”が表示されます。

すべての設定リセットをすると本機のリモコンモードもリセットされます。リモコンモードを変更していた場合は、以下の方法でリモコン側のリモコンモードを変更してください。

- リモコンの**［決定］**と**［1］**を同時に3秒以上押す

お知らせ

- HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」**（➜59）**を行ってください。

部分リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。
ただし、以下の設定は戻りません。

・日時
・DVD-Video の視聴制限
・BD-Video の視聴可能年齢
・HDD 番組の視聴制限
・HDMI 4K/60p 伝送モード
・IP アドレス／ DNS ／プロキシサーバー設定
・ホームネットワークの本機の名称
・家じゅう録画一覧設定の接続する機器一覧

- 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン 1）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合（本体表示窓に“U30”と表示）、リモコンモードを変更してください。**（➜65）**

お知らせ

- HDD の番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」**（➜59）**を行ってください。

情報表示

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

☞ その他の情報を見るには

- **［青］**：本機のソフト情報を表示
- **［赤］**：ルート証明書情報を表示

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器に影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 設定 **を押す**

2 **「機器設定」を選び、** 決定 **を押す**

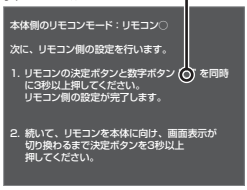
3 **「リモコンモード」を選び、** 決定 **を押す**

4 **「リモコン 1」～「リモコン 9」のいずれかを選び、** 決定 **を押す**

リモコン側のモードを設定する

5 **1** ～ **9** **のいずれかを押しながら、** 決定 **を 3 秒以上押したままにする**

ここに表示されている数字のボタンを押してください。



6 **リモコンを本体に向けて、** 決定 **を3秒以上押す**

- 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

7 決定 **を押す**

- リモコンモードの設定を終了します。

ネットワーク連携する機器の設定をする

ネットワークに接続した他の機器と接続する

ホームネットワーク設定

1 設定 を押す

2 「ネットワーク設定」を選び、決定 を押す

3 「ホームネットワーク設定」を選び、決定 を押す

4 「ホームネットワーク機能」を選び、決定 を押す

5 「入」を選び、決定 を押す

6 「アクセス許可方法」を選び、決定 を押す

7 「手動」または「自動」を選び、決定 を押す
- 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
- 「手動」の場合（➜ 手順８へ）

8 「機器一覧」を選び、決定 を押す

9 アクセスを許可したい機器の機器名またはMAC アドレスを選び、決定 を押す

10 「アクセス許可」を選び、決定 を押す
- 最大 16 台まで登録できます。

☞ 登録している機器のアクセス許可を取り消すには（「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ）
① 手順 9 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[決定] を押す
② 「アクセス許可取消」を選び、[決定] を押す

☞「通信／映像品質の設定」を変更するには
映像が途切れたり停止するのを改善するには、「オート」または「モード 2」～「モード 5（通信優先）」に設定してください。
① 手順3のあと「通信／映像品質の設定」を選び、[決定] を押す
② 項目を選び、[決定] を押す

☞ 接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには
① 手順 3 のあと「本機の名称」を選び、[決定] を押す
② 項目を選び、[決定] を押す
- 一覧から選んで変更
- 文字入力して変更（詳細版 ➜ 文字入力）

☞ ホームネットワーク機能を使用しないときは
手順 5 で「切」を選ぶ

お知らせ
- 機器側の設定は、各機器の説明書をご覧ください。

宅内リモート接続設定

本機と接続した外部機器（パソコンなど）から遠隔操作ができます。
- ブラウザ機能を持つテレビでも操作できます。

1 設定 を押す

2 「ネットワーク設定」を選び、決定 を押す

3 「宅内リモート接続設定」を選び、決定 を押す

4 「宅内リモート接続機能」を選び、決定 を押す

5 「入」を選び、決定 を押す

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな !?」の内容は、「取扱説明書　詳細版」（PDF 形式）も併せてご覧ください。

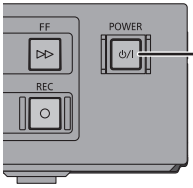
「故障かな !?」の内容は、当社サポートサイト（**➜8**）も併せてご覧ください。

以下の動作音は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
  - ・電源切 / 入時
  - ・通電時に本機そのものが冷却を行っているとき
  - ・録画中
  - ・静止画や動画を作成・転送中
  - ・録画モード変換時
  - ・「家じゅう録画一覧設定」（**➜63**）の「自動更新」の「入」時
  - ・「宅内リモート接続機能」（**➜63**）の「入」時
  - ・「ホームネットワーク機能」（**➜63**）の「入」時
  - ・インターネット接続時
  - ・予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に 1 回程度）の、本機全体の自動再起動時
    （本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています）

本機の操作ができなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。
  - ① **本体の [POWER ⏻/I] を押し、電源を切る**
    - 切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。
      （それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）



  - ② **本体の [POWER ⏻/I] を押し、電源を入れる**
    （起動に時間がかかる場合があります）

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- リモコンが正しく働いていないことがあります。（**➜68**）

録画できない / 録画に失敗する
再生できない/ 操作できない/フリーズする

- ディスクに直接録画するには「通常録画」（**➜20**）に設定してください。
- 本機は USB-HDD に録画できません。
- スピーカーなどの磁気を発生する機器を本機の上に載せている場合、録画できないことがあります。
- 本体機器を設定リセット（**➜64**）にて初期化することで改善する場合があります。
  ただし、設定リセットを行うことで、お客様の個人情報や、予約内容も消去されますので、ご注意ください。

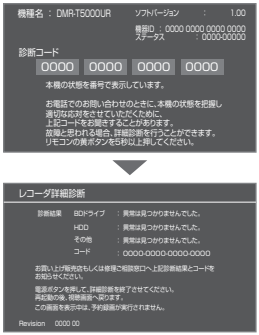
診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

①**[設定]** を押す
②「機器設定」を選び、**[決定]** を押す
③「診断コード」を選び、**[決定]** を押す
④**[黄]** を 5 秒以上押す
⑤「はい」を選び、**[決定]** を押す

- 診断を開始します。

例）



- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

電源

電源が入らない

- 「システムリセット時刻設定」で設定されている時刻前後の数分間は、本機の操作ができないことがあります。**(➜20)**
- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の **[POWER ⏻/I]** を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- 「自動電源オフ」**(➜57)** の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。
- 音楽を再生して、再生停止または一時停止中に 1 時間以上操作を行わない場合は、自動的に電源が切れます。
- 異常を検出した場合に自動的に電源「切」になることがあります。リモコンから電源が入らない場合には本体の **[POWER ⏻/I]** を押して電源「入」にしてください。電源「入」後に、エラーが発生したことを示す確認メッセージが画面に表示されます。エラーの原因を取り除いても同様の問題が起きる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

USB 機器の電源が切れない

- 本機の設定によっては、電源を「切」にしても USB 機器の電源が切れない場合があります。

本体

本機が熱い

- 本機通電中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースを空けてください。
  本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
  電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
  ① 本体の **[POWER ⏻/I]** を 3 秒以上押す
  ・本体の電源が切れます。
  ② **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に 5 秒以上押す
  ・本体表示窓に “00 RET” が表示されます。
  ③ 本体表示窓に “06 FTO” が表示されるまで **[▶]**(リモコンの右ボタン) を押す
  ④ **[決定]** を押す
  ディスクトレイが開くまでに時間がかかる場合があります。(約 30 秒)
  (ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
  ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

USB-HDD を認識しない

- USB 機器を正しく認識しない (USB 機器画面が表示されない) 場合は、USB 機器を抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。

画面表示

残量表示が使用した量と違う

- 残量表示は実際より増減することがあります。
- -R 記録や編集を約 200 回以上繰り返すと、残量が減ります。

ボタン操作

リモコンが働かない

- 本体とリモコンのリモコンモード **(➜65)** が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。



表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、**[決定]** を 3 秒以上押したままにしてください。

- リモコンモードを「4」～「9」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。(リモコン下部に “IR9” の表示があるリモコンで操作できます)
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- リモコンと本体の間に障害物 (ラックなどの色付きガラスも含む) などがありませんか。

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。**(➜65)**

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：約 42 W

■時計

クォーツ制御 24 時間 デジタル表示
（内蔵時計精度：平均月差 ± 30 秒）

■HDD 容量

4 TB

■本体

寸法：
幅 430 mm×高さ 60 mm×奥行き 249 mm
（突起部含まず）
幅 430 mm×高さ 60 mm×奥行き 262 mm
（突起部含む）

質量：約 3.4 kg
許容周囲温度：5 ℃～40 ℃
許容相対湿度：10 %～80 % RH （結露なきこと）

■録画モードと記録時間の目安

ディスク / 録画モード		内蔵 HDD (4 TB) ※1	BD-RE、BD-R			
			128 GB ※2	100 GB	50 GB	25 GB
HEVC 高圧縮	HEVC 1 倍録	約 260 時間	約 8 時間	約 6 時間 10 分	約 3 時間	約 1 時間 30 分
	HEVC 1.5 倍録	約 390 時間	約 12 時間	約 9 時間 15 分	約 4 時間 30 分	約 2 時間 15 分
	HEVC 2 倍録	約 520 時間	約 16 時間	約 12 時間 20 分	約 6 時間	約 3 時間
	HEVC 2.5 倍録	約 650 時間	約 20 時間	約 15 時間 30 分	約 7 時間 30 分	約 3 時間 45 分
	HEVC 3 倍録	約 780 時間	約 24 時間	約 18 時間 30 分	約 9 時間	約 4 時間 30 分
	HEVC 4 倍録	約 1040 時間	約 32 時間	約 24 時間 40 分	約 12 時間	約 6 時間
	HEVC 5 倍録	約 1300 時間	約 40 時間	約 30 時間 50 分	約 15 時間	約 7 時間 30 分
	HEVC 6 倍録	約 1560 時間	約 48 時間	約 37 時間	約 18 時間	約 9 時間
	HEVC 8 倍録	約 2080 時間	約 64 時間	約 49 時間 20 分	約 24 時間	約 12 時間

※1　MP4 を作成した場合、録画時間は少なくなります。
※2　128 GB は BD-R のみ。

仕様（続き）

■録画モードと記録時間の目安（続き）

録画モード ＼ ディスク		内蔵 HDD (4 TB) ※1	BD-RE、BD-R			
			128 GB ※2	100 GB	50 GB	25 GB
AVC ハイビジョン画質	AVC 1 倍録	約 360 時間	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分
	AVC 1.5 倍録	約 540 時間	約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分
	AVC 2 倍録	約 720 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
	AVC 2.5 倍録	約 900 時間	約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分
	AVC 3 倍録	約 1080 時間	約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分
	AVC 4 倍録	約 1440 時間	約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分
	AVC 5 倍録	約 1800 時間	約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分
	AVC 8 倍録	約 2880 時間	約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分
	AVC 12 倍録	約 4320 時間	約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間
	AVC 15 倍録	約 5400 時間	約 167 時間 30 分	約 130 時間	約 65 時間	約 32 時間 30 分
MPEG2 画質	XP	約 864 時間	本機では録画できません			
	SP	約 1728 時間				
	LP	約 3456 時間				

※1　MP4 を作成した場合、録画時間は少なくなります。
※2　128 GB は BD-R のみ。

録画モード ＼ ディスク		DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面2層)	DVD-RW (4.7 GB)
AVC ハイビジョン画質	AVC 1.5 倍録	約 36 分	約 1 時間 7 分	本機では録画できません
	AVC 2 倍録（HG 相当）	約 48 分	約 1 時間 30 分	
	AVC 2.5 倍録	約 1 時間	約 1 時間 52 分	
	AVC 3 倍録（HX）	約 1 時間 12 分	約 2 時間 15 分	
	AVC 4 倍録（HE）	約 1 時間 36 分	約 3 時間	
	AVC 5 倍録（HL）	約 2 時間	約 3 時間 45 分	
	AVC 8 倍録（HM）	約 3 時間 12 分	約 6 時間	
	AVC 12 倍録	約 4 時間 48 分	約 9 時間	
	AVC 15 倍録（HZ）	約 6 時間	約 11時間 15分	
MPEG2画質	XP	約1時間	約1時間45分	約1時間
	SP	約2時間	約3時間35分	約2時間
	LP	約4時間	約7時間10分	約4時間

お知らせ

- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Audio 及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
- For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS, Inc. DTS, Digital Surround, DTS 2.0 + Digital Out, and the DTS logo are registered trademarks or trademarks of DTS, Inc. in the United States and other countries.
  © 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- “DVD Logo” は DVD フォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- DSD はソニー株式会社の登録商標です。
- AURO-3D® は Auro Technologies の登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
  (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
  詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (http://www.mpegla.com) をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  (i) 画像情報を VC-1 規格に準拠して（以下、VC-1 ビデオ）記録すること。
  (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した VC-1 ビデオを再生すること。
  詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (http://www.mpegla.com) をご参照ください。
- Copyright 2004-2014 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。
Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[設定] ボタンを押し、“情報表示” → “ID 表示” → “ソフト情報” をご参照ください。
- 本機器をネットワークに接続して利用される場合、当社は、本機器に入力された文字情報を、本機器の操作機能（かな漢字変換や番組の検索等を含む）の利便性向上や新機能の開発のために、弊社サーバー上で保管し、利用することがあります。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
  ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。© 2018 ACCESS CO., LTD. All rights reserved. 本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- ブルーレイディスクタイトルで（BD ライブなどの）追加コンテンツを楽しむためには、別売の USB 機器を挿入する必要があります。（空き容量として 1 GB 以上が必要です。）
- “AVCHD 3D/Progressive” および “AVCHD 3D/Progressive” ロゴはパナソニックホールディングス株式会社とソニー株式会社の商標です。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
(5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ～ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。
パナソニックは、本製品の発売から少なくとも３年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
https://panasonic.net/cns/oss/

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Java™ POWERED

dts®

Dolby Audio

NetFront® Browser BE

HEVC Advance™
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

AVCHD™
3D / Progressive

損害について

本機の誤った使用、使用時に生じた故障、その他の不具合、本機の使用により受けられた損害については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話　　（　　）　　－

お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」（➜67 ～68）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

- 製品名　デジタル入力レコーダー
- 品　番　DMR-T5000UR
- 故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

[ただし、光ピックアップ部（またはドライブユニット）、電池は、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます]

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間　８年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障し、保証期間内に修理ご依頼いただいた場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、取扱説明書から切り離した本書を添え、お買い上げの販売店にお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合は、修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入された販売店で修理をお受けになれない場合は、修理ご相談窓口にご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合は、原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）取付場所の移設、輸送、落下、衝撃などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   ただし、車載を目的とした機器は除く
   （ホ）電池や消耗または摩耗した部品交換の場合
   （ヘ）指定外の動作環境で使用された場合の故障及び損傷
   （ト）本書のご添付がない場合
   （チ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   （リ）離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
7. 修理ご相談窓口は、本書表面をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご覧ください。
※修理に際し、本体交換による修理や再生部品、代替部品を使用する場合がございます。交換した本体、再生部品は回収させていただきます。
※This warranty is valid only in Japan.

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検　長年ご使用のデジタル入力レコーダーの点検を！



こんな症状はありませんか	ご使用中止
● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 内部に水や異物が入った ● 変形や破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

Panasonic

出張修理

映像・音響製品 保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	DMR-T5000UR
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※ お買い上げ日	年　月　日
※ お客様	ご住所 お名前　様 電　話（　）　—
※ 販売店	住所・販売店名 電話（　）　—

見本

パナソニック株式会社
〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号　修理ご相談窓口 (0120) 878-554

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

パナソニック株式会社
〒570－0021　大阪府守口市八雲東町 1 丁目 10 番 12 号
© Panasonic Corporation 2022-2025
TQBS0477-4
F0622YM5096